

# 関大

## 第565号

平成23年(2011年)9月15日発行  
奇数月15日発行・昭和30年8月6日第三種郵便物認可

関西大学校友会

〒564-8680 吹田市山手町3-3-35 関西大学校友・父母会館  
電話06(6368)1121(代) FAX06(6380)8476  
URL <http://www.kandai-koyukai.com/>  
Eメール [koyukai@ml.kandai.jp](mailto:koyukai@ml.kandai.jp)

## 10月16日(日)に校友総会を開催

河田恵昭社会安全学部長が記念講演

若手校友落語家応援の「関大寄席」

11月23日(祝)に天満天神繁昌亭で開催

東日本大震災に関する関西大学の主な対応について③

学生ら28人が被災地で支援ボランティア活動に参加  
社会安全学部が「被災地に学ぶプロジェクト」実施

トップに聞く④ 関西スーパーマーケット 代表取締役社長 井上 保氏



支援活動を終えて笑顔を見せる学生たち(ボランティアセンター提供)





## 「あすかの庭」

平成20年（2008年）3月、第1学舎エリアの景観が一変した。

昭和30年に建設され、前庭の楠の大樹とともに古い校友にはなじみ深かった第1学舎（旧法文学舎）1号館（写真左下）が老朽化し、耐震性の問題や、従来の法学部・文学部に加えて政策創造学部が教室、実験・実習室等として使用するため建て替えられることになり、平成19年4月から工事が進められた。

20年3月17日に鉄骨鉄筋コンクリート造、地上6階建ての新しい第1学舎1号館が竣工。前には人工芝を含む3,000平方メートルからなる庭が整備され、「あすかの庭」と命名された。

あすかの庭の一角、簡文館の前には壁画発見35年を記念して「高松塚古墳壁画再現展示室」も3月11日に完成した。

今は、学生たちの憩いの広場となっている。



## 関大 565号 目次

### 本部活動

## 2 平成23年度校友総会

10月16日(日)にBIGホール100で開催

河田恵昭社会安全学部長が記念講演

「関大丸」で天神祭・船渡御を堪能

若手校友落語家応援「関大寄席」

11月23日(祝)に天満天神繁盛亭で開催

「関西大学校友会産学サークル」の構築を目指して

連携プロデューサーの企業訪問 ものづくりの現場のいま (1)

## 7 東日本大震災に関する関西大学の主な対応について

被災者支援についてのボランティアセンターの対応

被災地支援ボランティア活動に参加して 学生4人の感想

社会安全学部が「被災地に学ぶプロジェクト」を実施

## 12 トップに聞く 関西スーパーマーケット代表取締役社長 井上 保氏

## 16 きらっ人校友録 ③ 堀場製作所マネジャー 石川 純代さん

### 大学・学生関係

## 18 第1回大阪マラソン、協賛団体としてさまざまな取り組みを実施

第4回氷の甲子園を開催 80人が練習成果を披露

全国学生能楽コンクールで文化会能楽部が最優秀賞受賞

## 23 オース！ごきげんさん。(39) 青春の夢を追い求めて 川原 正(下)

## 24 北から南から＜各地支部だより＞

九州地区の7支部が総会を開催 支部交流・他大学交流も活発に  
組織部からお知らせとお願い

## 42 新刊紹介

## 44 会と催し 訃報



出発する学生を激励する笹倉淳史学生センター所長

## 草の甲

日露戦争開戦前夜、密かに来日したポーランドのピウスツキ將軍は、日本と組んでロシアを挟み撃ちすることを提案したが結局、日本は単独戦争に踏み切り、ポーランド沖に展開していたバルチック艦隊を日本海海戦で撃破し勝利をおさめた。以来ポーランドは大変な親日国家となった。日本軍はロシア兵として従軍していたポーランド人兵士を救出し松山で介護し帰国させたが、不幸にして命を落とした兵士たちを手厚く葬った。松山にあるロシア軍兵士の墓は実は当時のポーランド人兵士の墓である。

第一次大戦後ポーランドは独立を回復した。シベリアに抑留されていたポーランド人政治犯たちは処刑され、多くのポーランド人児童が孤児となり遺棄されていた。日本赤十字社はシベリアに救出に向かい八百人の孤児を無事大阪で保護しポーランドに帰した。第二次世界大戦のさなか、連合国側のポーランド系ユダヤ人六千人に日本通過のビザを与え、米国へ逃れさせた。日本のシンドラと呼ばれる杉原千畝公使の偉業とされている。阪神淡路大震災の時、日本政府は全ての外国からの援助を断っているが、唯一ポーランドの援助だけを受けている。震災孤児を百年前の返礼としてポーランドでトラウマを取り除き日本に帰してくれたいま、東北の震災・津波遺児たちが再びポーランドで養護を受けている。主だった国立大学には日本語学科があり、他国に例を見ない。もっともっと知って良い国だろう。



10月16日(日)にBIGホール100で開催

河田恵昭社会安全学部長が記念講演

平成23年度校友総会は、10月16日(日)に例年より30分早い午後0時30分から千里山キャンパス・第2学舎の「BIGホール100」で開催される。今年も「校友なら誰でも自由に参加できる」という総会構想にたつて、総会・記念講演・懇親会の3部構成で実施されるが、第2部の記念講演では、防災・減災研究の第一人者として知られる社会安全学部長の河田恵昭教授に「東日本大震災の教訓をつぎの南海地震に生かす」と題して講演いただくことになった。会費は無料。  
なお、駐車場はないので、電車で来学ください(阪急千里線「関大前」駅下車。南出口からはエスカレーターあり)。

校友総会については、所管の総務部で企画の検討を進め、9月13日開催の第10回常議員会で開催要項が確定した。

校友総会は、例年より30分早い、午前11時30分受付で、午後0時30分開会。第1部総会と第2部記念講演はBIGホール100、第3部懇親会は総合学生会館メディアパーク・凜風館2階のダイニングホールディノア(生協食堂)で開催される。当日日程は次のとおり。

第1部総会(12:30~14:15)

開会の辞 学歌斉唱 物故校友へ黙祷 来賓紹介 会長挨拶(寺内俊太郎会長) 来賓挨拶(上原洋允理事長、楠見晴重学長) 会務報告(北嶋弘一総務部長) 記念品贈呈 感謝状贈呈

第2部記念講演(14:30~15:30)

テーマ「東日本大震災の教訓をつぎの南海地震に生かす」

講師 関西大学社会安全学部長 河田恵昭先生

閉会の辞

第3部懇親会(16:00~17:00)

開宴の辞 乾杯 懇親 逍遙歌合唱 閉宴の辞

講演テーマは「東日本大震災の教訓をつぎの南海地震に生かす」

第2部記念講演では、3月11日に発生した東日本大震災以来、マスコミに連日のように登場するとともに、政府の東日本大震災復興構想会議委員としても活躍の社会安全学部長・社会安全研究科長、河田恵昭先生に、「東日本大震災の教訓をつぎの南海地震に生かす」のテーマで講演いただくことになっている。

河田先生は、「巨

大な津波が来襲した東日本大震災は、津波の発生メカニズム、減災による被害軽減、そして自治体の連携などに関する多くの教訓を教えてくれました。これをどのようにつぎにつぎについで紹介します」と

講演要旨を述べておられ、いつ起きてもおかしくないとわれ、西日本に住む私たちも多大な影響を受ける南海地震にどう対応するかなど、示唆に富んだお話しを伺えるものと期待が膨らむ。

懇親会は恒例の凜風館2階で開催

第3部懇親会は、例年どおり総会会場に近く、総会・講演会の雰囲気そのまま持ち込めるよう、凜風館2階のダイニングホールディノア(生協食堂)を借り切って開催し、応援団の演舞演奏などアトラクションを企画している。



平成22年度の校友総会



## 「関大丸」で天神祭・船渡御を堪能

多くの市民に「関西大学」をアピールし  
「がんばろう！日本」と復興を呼びかけ



大阪の暑い夏を象徴する天神祭。千年の歴史を持ち、日本3大祭に数えられる。そのクライマックス「船渡御」が、7月25日（月）夕刻から行われ、昨年装いを新たにした奉拝船「関大丸」が今年も就航。大川の兩岸や橋の上で祭

りを楽しむ市民に、「強い関西大学」を力強くアピールするとともに、今年は船の両舷に「がんばろう！日本」の電飾を掲げ、東日本大震災からの一日も早い復興を呼びかけた。「関大丸」の就航は、校友会の母校創立120周年記念事業の一つとして始められ、その後も、天満宮は学問の神様である菅原道真公を祀っており、大阪で生まれ育った大学としてこれに参加することは意義があると、毎年就航。今年6回目となり、市民にもお馴染みの船になりつつある。

午後5時から、約160人の乗船者が飛翔橋下の乗船場に集まってきた。これまでと若干乗船場所が変わり、戸惑う常連を尻目に、船に立てられた「関西大学」の幟を見て一直線に受付に来られた初参加者もいた。まだ熱気が残る午後5

時半、昨年同様、毎日放送・子守康範アナウンサーの司会で出航前のセレモニーが始まった。まず、応援団第89代团长富田龍郎君の指揮で学歌を斉唱。寺内俊太郎校友会長が、「6回目を迎えた関大丸によつこそ！ いろんな年に行ろんな話題を乗せて関大丸は就航しています。皆さん、今年も天神祭を大いに楽しみましょう！」と歓迎の言葉を述べ、上原洋允理事長は、「大阪締め最後の3拍ですが、関大丸船上では、1つは菅原道真公にあやかり、世界を舞台に活躍する頭の良い学生が関大から多数輩出することを願ひ、2つは関西大学・校友会・教育後援会の3者が充実発展することを願ひ、3つは乗船の皆さんのご多幸ご健勝を願うものです」と述べ、「一緒に大阪締めをやりましょう」と呼びかけ、全員で「うちまーしょ（パンパン）」「もひとつせ（パンパン）」「祝うて三度（ババン パン）」と威勢よく

手打ちを行った。楠見晴重学長は「関西大学は、天神橋筋商店連合会との提携などを通じて、天満宮と結びつきを持っていたが、さらに強い結びつきを持つようとしている。1つは、かつて天満宮の中にあつた名水（井戸）を、復活させることになっている。また、3月11日に大震災が起きたが、寺井宮司さんはこの天神祭を契機に日本を盛り上げていきたいと願つておられる。天神祭に参加して、大阪から関西大学から日本をもっと元気にしていきたいと思っている。皆さんも大いに楽しんでください」と挨拶した。

弁当や飲み物が配られ、一息ついたところで、校友の落語家・林家染太さん（平12学文）が登場。以後、昨年と同じ子守・染太コンビの名司会で進められた。

応援団リーダー部・バトンチアリーダー部の最初の演技が終わり、艦装を凝らした各船の電飾が川面に映えるころ、順次川岸を離れ、いよいよ船渡御が始まった。心地よい風が頬をなでる中、関大丸は、子守・染太両氏の呼びかけで

行き交う船や川岸・橋の上の見学者と次々と大阪締めで交歓し、真近かで打ち上げられる花火に歓声をあげるなど、船渡御を堪能。最後に道遙歌を合唱し、大阪の良さを関大の良さを味わった船旅が終わった。



## 総合関関戦勝利者賞授与式を開催

### 13の部に勝利者賞、3部に演武賞を授与

第34回総合関関戦は、6月16日から18日まで関西学院大学上ヶ原キャンパスをメイン会場に開催され、関西大学は13勝18敗の大差で敗れたが、恒例の総合関関戦勝利者賞授与式が、7月11日12時30分から校友・父母会館の校友会会議室で開催された。

これは、平成17年度から「強い関西大学」実現の一環として、総合関関戦での各クラブの奮闘努力を促す方策の一つとして、学生センター所長の要請により、校友会から勝利したクラブに「勝利者賞」、引き分けたクラブに「敢闘賞」、演武のクラブに「演武賞」を贈呈しているもの。

授与式には、大学から黒田副学長、池内専務理事、笹倉学生センター所長、体育OB会から小坂会長、海蔵寺会長代理らと校友会から寺内会長、古川・田中両副会長、勝利した13部と演武3部の代表が出席。

まず、寺内会長が「スポーツの総合対校戦として全国でも有数の歴史を持つ総合関関

戦だが、関大は3連敗を喫し歯がゆいものがある。来年は勝利クラブでこの会場を一杯にしてほしい」と挨拶。黒田副学長は「思いやる心を育てる。それがスポーツにはある。今後も精進してほしい」、小坂OB会長も「来年こそは勝利してほしい」と激励。寺内会長から各クラブに「勝利者賞」「演武賞」を手渡し、8年ぶりに勝利したラグビー部の黒谷主将がお礼の言葉を述べ、授与式を終了した。

### 金美齡氏との懇談会開催 訪台団にビデオレター託す

読売TV『たかじんのそこまで言って委員会』でお馴染みの金美齡先生と校友会執行部役員との懇談会が、7月12日にリッツカールトン大阪で開催された。

これは、9月23日、25日に行われる校友会第17回海外研修「台湾同窓との交歓と台北の旅」のイベントの一つとして、台湾校友との交歓、台湾建国100周年、関西大学創立125周年、東日本大震災に対して世界で一番多額の義援金を頂いた台湾へのお礼と関西大学にも台湾校友から義援金を頂いたお礼など



の意味を込め、合同交歓会席上で、日本と台湾の両国を良くご存知の金先生のビデオレターを流すという企画があり、快諾いただいた金先生が来阪の折、同ホテルでビデオレターの撮影が行われたのを機に、寺内会長はじめ、副会長、部長、事業部役員との懇談会がもたれたもの。

伊藤事業部長の乾杯の後、日本人よりも日本人らしい心を持った金先生と、軽快で楽しく歓談をさせていただいた。日本と台湾と関西大学校友のためにノーギャラでビデオレターに協力いただいた金先生に改めてお礼申し上げます。

(事業部 芋縄隆史)



毎日

## スタート&ダッシュ

あらゆる印刷に、全速・全力でお応えします。

お客様のご要望にお応えすべく、確かな技術の中から最適のご提案をすることで事業のお役に立つ。お届けするのは、印刷ソリューション。そのために、情報も対応も、より速く的確に。いつも全力で、毎日スタート&ダッシュ! 私たちは東洋紙業です。

印刷で人と時代をコミュニケーションする

**東洋紙業株式会社**

大阪本社：〒556-8555 大阪市浪速区芦原1-3-18 ☎(06)6567-2111  
東京本社：〒140-8670 東京都品川区南品川6-1-5 ☎(03)3450-2111

[www.toyo-s.co.jp](http://www.toyo-s.co.jp)



# 「関西大学校友会産学サークル」の構築を目指して

## 連携プロテューサーの企業訪問 ものづくりの現場のいま

1

平成23年の寺内会長年頭あいさつで、「40万人校友は、正課・課外活動等を通じて同窓・仲間との絆で結ばれており、無形の財産と言えるものを内在している。その絆を確かめ合い、深めながら研鑽し高めていく場が校友会であると考える。校友が地域支部、職域会等での地域に根差す活動を通じ、地域、社会に貢献すること、大学・校友それぞれが保有するノウハウを双方、校友間で活用することにより、校友、母校の発展と地域社会に寄与できるものと思う」と連携の方向性を示された。

日本のものづくり経営に今必要なのは、まず自らの強みを見極め、それを活かし、さらに弱みを補うものづくりの現場のネットワークの形成であると言われている。新しい産業の創造に資するコミュニティとして、「関西大学校友会産学サークル」の実現を目指し、本稿ではその活動のひとつとして、校友が経営する企業のものづくりの現場を連携プロテューサーが訪問し、できるだけストレートに素描して、読者のみなさんに分かりやすくお伝えすることを心がける。

この記事が契機となり、異なるもの同士が関係性を持つことによって、両者のどちらにも何かを生み出す創造型の連携活動が展開することを期待する。

## 常に、できないとされていることや かつ重要であり価値の高いことに挑戦

### 中嶋金属株式会社

中嶋金属(株)は、特殊かつ高度の電気メッキ・無電解メッキの基盤技術を保有し金メッキ加工を得意としています。特に、金、銀、ロジウムなどの貴金属メッキ加工は、他に類例のない

特殊な技術で様々なニーズに応えています。

最近では、赤ちゃんや子供の

思い出の靴にメッキを施した

「ファーストシューズ」、プラス

ティック樹脂に金、銀、銅のメ

ッキ加工をした「手形・足形」が、記念やプレゼントの品として好評で話題になっています。

金属をはじめ、プラスチック

樹脂(熱可塑性樹脂・熱硬化

性樹脂)、セラミックス、ガラス



さらにゲルマニウム、タングステンカーバイド(超硬)、フェライト(磁石)などの多種多様な素材について、業種の枠にとらわれず、あらゆるカテゴリーの製品を自社で生産するという多品種少量生産のイノベーションを実現しています。金メッキで

難しいとされている大型部品に對してもむらなくメッキする技術を確立し、大型部品専用金メッキラインを設置しています。

「他社と違うことをやる!」という創業以来の方針のもと、大阪城天守閣などの建築物の大型部

品に金メッキ加工する技術強化し、実績を積み重ねてきています。

独自のメッキ加工技術の開発により高品質な仕上がりと非常に特殊なメッキ加工、具体的には部分メッキ、細管内部のメッキ、プラスチック樹脂へのメッキ、プリント基板のピンポイントメッキ、微粉体へのメッキなどの技術を確立し、独特の存在感を放つ企業に成長してきました。独自開発のメッキ液と徹底的なその管理が中嶋金属(株)の製品の精度と品質を保障するノウハウとなっています。

「何とんでもやるぞ!」「社会に役立つ、喜んでいただける技術を!」の思いで、今日もお、技術開発に挑戦しています。2002年にゲルマニウムに金属メッキを施す技術を開発、2007年に性質の異なる



金メッキ皮膜と白金メッキ皮膜を複数組み合わせ、メッキ皮膜を形成するという新しいプロセスを確立し、燃料電池用電極のメッキ加工技術を開発、2008年には内径0.3mmの金属微細管（微細パイプ）内部への金メッキを施す技術などを開発しています。これらの成果により、経済産業省などから多数の認定を得るなどその技術力が高く評価されています。

社会に役立つ技術の開発は、断片的な対応策ではなく、様々な要素を組み合わせてストーリーを描ききっていくアプローチが必要で、構想力、総合的なエンジニアリング力がキーポイントであると考えられています。

「うちは規模にはこだわらない。技術で勝負したい」、そのためにも人材が重要であると考え、経験など固定観念に捉われず人材を採用し、その強みを生かした育成がなされています。

今どこにいて、この先どちらへ向かうべきかを知る冷静で柔軟な判断力と順応性で、刻々と変化する環境に対応されています。現在、技術レベルの向上を目指し新たな研究開発案件が進行中で、中嶋金属（株）の社会に役立つものづくりの技術開発への挑戦に終わりは無い。

（校友会連携プロデューサー 田中久仁雄）

所在地：〒615 0052 京都市右京区西院清水町4  
 代表者：代表取締役 中嶋 哲也  
 TEL：075 311 4267  
 FAX：075 311 3356  
<http://www.nakajimakinzoku.co.jp>

## 広報部からのお知らせ

### 新年号の発行が1月15日付になります

機関紙「関大」の発行定日は、奇数月15日付で年6回発行しておりますが、これまで1月号（新年号）に限り、発行定日を臨時変更して1月1日付とし、年内に発行してきました。

広報部で検討の結果、11月号との発行間隔が短い、年末・年初の情報を掲載できないなどから、平成24年新年号より、1月15日付で発行することになりました。ご了承くださいますとともに、今後とも愛読くださいますよう、お願いいたします。

## 若手校友落語家応援「関大寄席」

11月23日（祝）に天満天神繁昌亭で開催

校友会では、23年度事業計画として初の試みである、若手校友落語家による「関大寄席」を次の通り開催します。毎年7月の天神祭、船渡御、奉拝船「関大丸」の就航や天神橋筋商店街との本学社会連携活動等を通じて、何かと縁の深い天満天神繁昌亭で、将来有望の若手校友落語家を応援すべく開催するものです。

知り合いの方も誘いのうえ、多くの校友の皆さまの参加をお待ちしています。

日時 11月23日（祝） 10時～11時半  
 （9時半開場）

場所 天満天神繁昌亭 大阪市北区天神橋2 1 34

出演者 1. 桂 雀太「道具屋」、2. 笑福亭風喬「ぶく鍋」、3. 林家染太、

4. 桂 三金「宿題（桂三枝作）」。三味線：豊田公美子

参加費 一人1500円※前売り特価（当日券2000円）

定員 先着210人（家族同伴可）

申込締切日 10月21日（金）

申込方法 氏名、卒業年学部、住所、電話番号を記入の上、郵送、またはFAX（06 6380 8476）にて早目にお申し込み下さい。

申込後、左記振込先へ参加費をお振り込みください（恐縮ですが、振込手数料はご負担願います）

参加費振込先 ゆつちよ銀行 009

302 55594 名義・関西大学校友会

りそな銀行天六支店 普通口座0187509 名義・関西大学校友会会長 寺内俊太郎

ご注意 天満天神繁昌亭は席数が限られていますので、申込人数が定員に達した場合、その時点で締切りとさせていただきます。

振込確認後、10月下旬以降に座席指定のチケット等を送付いたします。

座席のご希望には応じかねます。振込後のキャンセルにも、返金は応じかねます。

問い合わせ等は、校友会事務局（06 368 0042）まで。

天満天神繁昌亭の創設には、関西大学創立120周年を記念して校友会から100万円の寄付をしており、

記念の提灯が繁昌亭正面左側に掲げられておりますので、ご覧下さい。





# 東日本大震災に関する関西大学の主な対応について③

東日本大震災に関する関西大学の主な対応については、本紙563号(5月号)、564号(7月号)に、大学のホームページ掲載記事を中心にとめて掲載してきたが、8月24日から30日にはボランティアセンターが募集した学生らが現地での活動を実施した。

ボランティアセンターのこれまでの対応と、参加した学生に感想を寄せていただいた。

## 被災者支援についてのボランティアセンターの対応

### 学生たちの熱い思い

関西大学ボランティアセンターには、東日本大震災発生直後から、「なにかしたい」という多くの学生が訪れるようになっていた。

おりしも東日本大震災発生そのとき、私は職員とともに、横浜の明治学院大学ボランティアセンターを訪問しているところであった。あれほど大きく、長い揺れを私はこれまで経験したことはな

ボランティアセンター 神藤 典子

方々の恐怖、哀しみ、絶望感を想像すると、いてもたってもいられなくなった。

そういった経験を経て、学生たちの熱い思いも日々感じながら、私たちボランティアセンター職員は、被災地の情報を収集すること、学生スタッフをはじめとした学生たちの募金活動に対する支援を行っていた。

また、当センターでは、息の長い支援活動をしたと考え、東日本大震災被災者支援に関する情報を収集し、鋭意検討を重ねるとともに、センターの取り組みの現状を報告し、「いま、私たちにできること」を参加者と一緒に考えるミーティングを、3月30日から定期的に現在も開催している。

### 6月に被災地を訪問

「被災地に直接的な支援を行いたい」、「災害ボランティアに行きたい」という学生の思いを感じながらも、余震が続き、学生の安全を確認できない状況下で、多くの大学が災害ボランティアに対して慎重な立場をとっていた。

私自身、「すぐにでも被災地に行き

たい」という思いを抱きながらも、「どのようにすれば、学生に対して災害ボランティアを奨励できるのか」というジレンマを抱えながらの日々を過ごしていた。

そんな中、私は「まず自分の目で被災地を見て、今後の支援を考えたい」という思いから、田中成典学生センター副所長とともに、6月2～3日に宮城県と岩手県の被災地視察を行った。その際に、岩手県立大学で開催された『東日本大震災支援全国ネットワークin現

地会議』に出席し、岩手県立大学学生ボランティアセンターを訪問、山本克彦先生と学生スタッフの方々と話し合うことができた。

さらに、以前からつながりのあった(特)ユースビジョンと、(特)さくらネット、岩手県立大学学生ボランティアセンターが連携する『いわてGINGA-NETプロジェクト』の情報を受け、各大学が参加するかどうか様子を見る中、早い段階で参加する意思を表明した。それは、「その後、多くの大学が参加を決定する呼び水になった」ということであった。

災害ボランティアに参加しようとする学生には、安全のための備え及び被災地での心構えなどを説明する災害ボランティアガイダンスを実施した。授業の関係などで参加できなかった学生には、ガイダンスの録画DVDを上映するなどして対応し、115人の学生がガイダンスを受講した。

### 学生と共に被災地へ

いわてGINGA-NETへの支援として、大学として、バスを1台チャーターした。私自身も引率者として参加し、ほんの少しであるが、避難所体験(参加学生ほか180人ほどが体育館で寝泊まり)をし、仮設住宅で学生が実施したサロンド活動にも同行させてもらい、被災者の方々からお話を聞かせていただく機会も得た。

参加した学生たちの感想文をご覧いただきたい。

私たち二人ひとりができることは微力かもしれないが、今後もボランティアセ



かった。揺れのせいで気分が悪くなるほどであった。ほどなく、明治学院大学及びその地域全体の、電気・ガス・水が、そして鉄道が止まり、私たちは「瞬にして帰宅困難者となった。翌日1日がかりで帰宅してから1週間ほど、めまいがおさまらなかった。私は、被災された



ンターは、被災者支援を行う学生たちへの支援を続けていきたいと考えている。

なお、今回の被災地でのボランティア

プログラム概要は次のとおり。

日 時 8月24日～30日（いわて

GINGA-NEEプロジェクト）第5期

活動地域 岩手県（大槌町、釜石市、

大船渡市、陸前高田市、住田町ほか）

実施主体 いわてGINGA-NEE

プロジェクト実行委員会（岩手県立大

学学生ボランティアセンター、特定非

営利活動法人ユースビジョン、特定非

営利活動法人さくらネット）

活動内容 仮設住宅でのサロン活動、

子ども向けの学習支援、遊び支援、

お祭り等地域行事の開催支援等

参加費 1万5000円（参加者自

己負担）

参加学生数 関西大学学生24人

（ボランティア活動支援グループ長補佐



## 体験を周りの人に伝え 復興を考えていきたい

稲田 洪（院文一）

私たちは、8月24日から30日にかけて、今回、東日本大震災で被災した岩手県でボランティア活動を行ってきました。

私たちの活動は主に、応急仮設住宅における新たな関係づくりを行ってきました。仮設住宅内に設置された談話室を利用し、「お茶っこサロン」を学生で開設し、利用される住民にお茶やジュースなどを出し、住民に混ざってお話をするという活動を行いました。

私のグループでは、釜石市の松倉という地域の仮設住宅を担当しました。松倉では、私たちで2期目ということもあり、あまり「お茶っこサロン」の存在を認知されておらず、利用される住民が少なかつたです。そこで、私たちはまず、チラシを作り、1000戸近くある住宅を訪問し、あいさつ回りやチラシ配りを始めました。また、掲示板にポスターを貼るなど「お茶っこサロン」の認知を広げることに努めました。さらに談話室のレイアウトを考え、幅広い年齢層でも談話室に入りやすいような雰囲気を作ることを考え活動を行いました。

住民の方々とお話する中で、震災の様子や現在の生活の話を聞かせていただきました。

住宅、身内、大切なモノをたくさん失った方々が大半で、心の傷は大きく被災者が背負っているものは大きなもの



だと感じました。しかし、この状況を受け止め、前向きに生きているという印象も私は受けました。こういった状況だからこそ、普段から見ると笑顔のようない小さなものがとても眩しく感じ、私の方が元気をもらったような気がします。

今回、被災地のボランティア活動によって、学生たちはそれぞれが人生の中で貴重な体験ができたと思います。しかし、この体験を自分のものにだけするのはなく、伝えていくのが自分達の仕事だと思っています。被災者と自分の周りにいる人間を繋いでいくことで、みんなが被災地の復興について考えていきたいです。



田澤 直樹（社3）

私はボランティアセンター学生スタッフとして、震災に対し募金活動などを行ってきました。しかし、いまだ復興の目処が立たない状況のため、現地で活動することで少しでも力になればと思います。今回参加しました。

活動としては、釜石市の仮設住宅でサロン活動を行いました。この活動は、学生が子どもの遊び相手や話す場所を提供することで、住民のコミュニケーションを手伝うというものです。しかし、初日は呼びかけても、サロンに近所の人がいなかったと断られるなど、上手くいきませんでした。そこで、訪れやすくなるようにかき氷の配布イベントを企画しました。最初は別々に食べに来ていた人たちが、一緒に食べる中で、出身地について話し始めるなど、少しずつ交流が生まれていき、その様子が



見られただけで来てよかったと思えました。

また、地元の方はとても好意的に接してくださり、津波に遭ったときの話も聞かせていただきました。多くの方が、ただ悲しんでいるだけでなく、二度と多くの命が失われないように、今回のことを教訓として伝えてほしいと話されていたことが、とても印象的でした。そして、それを聞いたからには伝えていく責任を感じました。

ただ、活動は4日間しかなく、住民の方と仲良くなってきたというところで、戻らなくてはいけなかったのが残念でした。けれども、学生スタッフでは今年度の学園祭で防災キャンペーンを行うなど、今後も支援活動が続けていく予定なので、今回の貴重な体験を活かしていきたいと思います。

## 甘えてきた子どもたち 次は大阪でできる事を

松原 侑香(文3)

私が活動させていただいたのは釜石市の仮設住宅でした。約180世帯あり、目の前には大きな公園があって、私たちのバスが到着するとすぐに子どもたちが集まってお出迎えしてくれました。この仮設住宅に今必要な事は何か話し合った末、子どもとの遊びの中にゴミ拾いやお片づけのやり方を取り入れてちゃんと教えることでした。

仮設住宅の子どもたちは、私たちにとても甘えてきました。一方、大人はこれから生活していくために仕事を探したり家事に追われて、子どもの面倒を見る余裕がないように感じました。だからこそ子どもたちは、甘えたい気持ち



ちを私たちにぶつけているのだと思います。また遊んでいると「津波」や「がれき」という言葉をよく耳にしました。幼いながら震災の恐怖を味わい、今でも頭に強く記憶されているのです。

限られた時間で精一杯の事をしようとして試みましたが、そんな私たちを見て釜石市の皆さんは「みんな無理しないでね」と温かい言葉をかけてくださいました。ある女性の話によると、初めは何でこの地域がこんな目に遭わなくてはいけないのかと嫌になったそうです。しかし5カ月たった今、「前向きに生きたい!」と強くおっしゃっていました。

被災地の方々は、どこか寂しそうな表情を見せながらも、今ある現実に立ち向かおうとしているようでした。

実際に行つて思ったことは、私たちは被災者とボランティアの関係ではなく、人と人として普通に接する事が大切だということでした。またボランティアが自分の生活を犠牲にして支援すること

被災地の方は望まないのです。被災地に行くことだけが全てではないので、これから、まずは大阪からできることを継続して支援したいと思います。

## 時間要する心のケアを痛感 今後も冬や春に参加したい

西谷 由佳理(社2)

「なぜこんな役立たずの年寄りが残つて、たくさんの方が逝ってしまったのか。私が逝けばよかったのに」。普段は無愛想な元漁師のおじいさんが、涙を流しておっしゃった言葉だ。約1週間のボランティア活動の中で最も心が痛んだ瞬間である。

私は、岩手県釜石市の日向にある応急仮設住宅で、住民の方々のコミュニティの場である「お茶っこサロン」を運営する活動に参加した。今回の活動を通して感じたことは、被災者が負った心の傷は想像以上に深く、また外から見えにくいものである、ということだ。

活動初日、被災者の方々と初対面で



お話すると、みな明るく元気に前向きに生きようとしている印象を受けた。しかし、日が経つにつれてふとした瞬間に心の傷跡が見えることがあった。冒頭の言葉は活動3日目に聞いたものであり、たった4日間の活動でこのような機会が幾度とあったので、おそらくこれらは氷山の一角に過ぎないのだと思う。また、これらは3月11日のあの津波から半年経とうとしている。今の状態なのである。被災者の心のケアがどれほど膨大な時間を要するのか、考えさせられた。被災者の生の声を聞いたことはもちろんのこと、ボランティアに一緒に参加した関西大学や他大学の仲間、ボランティアに参加させてくれた家族や周りの人たちへの感謝の心、被災地や被災者への支援に対する今後の課題など、私は今回の活動で大切なものをたくさん得ることができた。それらを活かして、大阪からできることを真剣に考え行動し、また現地でのボランティアにも冬や春に是非参加したい。

# 東日本大震災に関する関西大学の主な対応について③-2 (ホームページ掲載記事を中心に)

## 学内で「復興に資する研究課題」を緊急募集、決定 社会安全学部が「被災地に学ぶプロジェクト」実施

8月3日 東日本大震災からの復興に関する研究課題の緊急公募の採択課題を発表

大学では、5月19日付で「本学においても、未曾有の災害に対して、その復興に関連した研究課題にきわめて迅速に取組むことで、社会的責務を果たすことが重要である」と思料いたします。つきましては、一般の震災による被災からの復興に資する研究課題を緊急公募します」と学内発表し、個人研究と共同研究の研究課題を募集していたが、7月6日に個人研究8件、共同研究3件を決定。8月3日に一般公開した。

採択された個人研究は次のとおり(研究者・研究課題の順)

▽野間晴雄文学部教授「地域問題として東日本大震災を生徒に教えるための指針策定と教材作成」▽高屋定美商学部教授「災害復興基金の制度設計」東日本大震災と未来に備えて――▽安田雪社会学部教授「東日本大震災時におけるソーシャルメディア上の拡散情報及び情報発信行動の特性分析」▽橋本理社会学部准教授「防災・減災に関わるNPO・地縁団体による地域組織化と組織間連携の有効性に関する研究」▽米澤朋子総合情報学部准教授「ぬいぐるみコミュニケーションを用いた精神状態安定化に関

する実証研究」▽越山健治社会安全学部准教授「東日本大震災に必要な空間災害制御技術への提案」▽林能成社会安全学部准教授「鉄道の津波避難事前計画と緊急対応の検証」東日本大震災から学び南海地震に備える▽葛谷明紀化学生命工学部准教授「セシウム結合核酸モチーフの開発と簡易検査薬への応用」

また、共同研究は次のとおり(研究代表者・研究分担者・研究課題の順)

▽与謝野有紀社会安全学部教授(江川直樹環境都市工学部教授、草郷孝好社会学部教授、里見繁同学部教授、林直保子同学部教授、大門信也同学部助教)「コミュニティ主体の復興をささえるコミュニティの構築――「もやいの家」を通じた地域の再生」▽永松伸吾社会安全学部准教授(三谷真商学部准教授、檜原正澄経済学部教授、菅磨志保社会安全学部准教授)「被災地におけるしごとづくりの実践事例の収集と普及」▽鈴木哲システム理工学部准教授(小谷賢太郎同学部教授、朝尾隆文同学部助教)「生体計測用マイクロ波レーダーを用いた障害物下の生存者位置特定と容体推定技術の開発」

なお、研究期間は原則として、7月8日から24年3月31日まで。

8月29日～9月1日 社会安全学

部が8月22～25日に実施した「東日本大震災の被災地に学ぶプロジェクト」の詳細を公表。このプロジェクトには、44人の学生と院生が参加し、宮城県の仙台市、南三陸町、七ヶ浜町、亶理町などで活動を行った。

教員と学生有志による「被災地に学ぶプロジェクト」は、文字通り東日本大震災の被災地を訪問し、その実像に触れることで、社会安全学を志す学生たちの重要な学びの場としようという企画で、学生たちの印象や感想も含め、詳細な活動の様子を報告した(以下は抜粋)。

メインツアーに先立ち、8人の社会安全学部生が、仙台市内で被災した企業を訪問し、巨大災害時の対応や経済活

動、事業継続などについて考えた。

最初に訪問したのは、(株)鐘崎。地元では有名なかまぼこ製造企業で、工場は浸水を免れたため、比較的早期に営業を再開できたが、観光客を対象としているため、地震直後は将来の見通しが全く立たなかったとのこと。

次に訪問したのはキリンビール(株)東北統括本部。工場の被害は大規模で、現在もまだ全力で復旧作業中。しかし、社長が仙台工場の継続と社員全員の雇用維持の方針を打ち出したことで社員全員の士気も上がり、9月の仕込み開始11月の出荷開始に向けて頑張っていることなどを伺った。

最後の訪問は富士ゼロックス宮城(株)。常々からBCPを作成し、安否確認訓練なども定期的に実施していたが、地震直後は携帯各社のショートメールしか機能しなかったため、それで安否を確認するなど、マニュアル通りにはいかなかったとのこと。興味深かったのは、徹底的に顧客の一人一人の声を拾い上げ、





それらにどうやって対応していくかを積み上げながら、事業継続を組み立てていったという話。「地震があつたから仕方ない」といった甘えは許されない、という言葉は、これから社会に出て行く学生達にとつて非常に印象的だったようだ。また、学部の危機管理委員を務める学生は、災害が発生した場合の対応が必ずしもマニュアル通りにいかないことなどから、本当に使えるマニュアルや計画のあり方について、より考えを深めたようだった。

22日、いよいよ津波被災地のツアー開始。今回のコーディネート役は宮城復興支援センター・船田究事務局長が務めてくれた。

最初に、マスコミでも頻繁に取り上げられた南三陸町の防災庁舎を訪問。ここで最後まで津波避難を呼びかけ続け、ご自身が津波の犠牲になられた若い女性職員や多くの職員、地元の方が亡くなられた。現在は祭壇が用意され、津波被害のシンボリックな存在になっている。また、「さかなのみうら」という魚屋



さん。宮城復興支援センターと協力して被災者への物資提供などの支援活動を展開したことから、現在でも多くのボランティアの支援拠点になっている。それと同時に、経営再建に向けて地元産の魚を全国に向けて販売するなどの復興活動にも取り組んでいた。

その後、南三陸町のベイサイドアリーナに立ち寄り、南三陸町の仮設庁舎やWFPなど国際機関から提供されたテントなどを車内から見学した。震災からしばらくは、ここに多くの支援者や被災者が集まり非常に混雑していたとのこと。アリーナ内部では現在も身元のわからないご遺体の照合作業が警察によって行われているなど、生々しい津波被害の実態も垣間見られた。

本日の宿舎であるニュー泊崎荘に到着。地震からしばらく避難施設にもなっていたという。ここで、近隣の仮設住宅で生活する6人の女性に話を伺った。暮らしていた泊浜地区は約120世帯程の集落で、約半数が津波により流失したが、

無くなった方はほとんどいなかった。チリ地震津波の経験から、とにかく高いところに逃げろと言う教訓が親から伝えられていたからだとのこと。避難袋を用意していたが、それを持って逃げる余裕がない、できれば大事な物は避難場所置いておいた方が良かったといった具体的な話も聞かれた。

2日目は、車を北に向かわせ、車中から気仙沼市の被害を視察。気仙沼市は津波の被害があつたところとそうでないところの差がはっきりとしていた。その後、再び南三陸町方面に戻り、道中で津波による浸水予想の看板が、津波によって倒壊している現場を見た。想定ではこの看板までが浸水予想区域だったが、実際にはずいぶん上まで津波が押し寄せてきたことがはっきりと分かった。

ベイサイドアリーナ下のエムズ食堂にて昼食。倉庫を改修して営業しており、来客のほとんどは外部から来た応援の人だが、夜は居酒屋として地元の人の数少ない憩いの場になっているそうだ。その後、南三陸町立歌津中学校を訪問。校長先生は歌津出身で、小さい頃にチリ地震津波を経験しているとのこと。今回の震災でも、校長先生自身が中学校より低いところにある小学校にいる子ども達に、中学校まで避難するように



大声で呼びかけて難を逃れ、子ども達にはほとんど被害はなかった。

最後は仙台市内に戻って、荒浜地区の被災の様子を見学。広大な平野部には多数の住宅があつたことが伺えるが、ほとんど何も残っていない。これだけの平野部では避難すべき場所がほとんどなく、ある小学校では、児童を自宅に帰してしまつたために、帰つた児童とそれを追つた教師が津波の犠牲になつたという話も船田さんから紹介があつた。

全ての行程を終え、午後4時半に仙台駅に到着し、そのまま解散となつた。教員、学生、それぞれが、被災の実態を学び、いろいろなことを深く感じたと思う。解散時には、「今後の被災地が気になります」「また来たいです」という声も学生から多数聞かれた。これをきっかけとして、さらに社会安全学を深く学びながら、被災地との関わりを持ち続けていってもらえたらと思う。

(掲載写真は「関西大学ホームページ」より転載)



株式会社関西スーパーマーケット 代表取締役社長

## 井上保氏

(昭44学経)

Tamotsu Inoue

兵庫県伊丹市に本社を置く株式会社関西スーパーマーケット。生鮮食料品を中心にしたスーパーマーケットとして関西圏に60店舗を構え、「普段の生活をより豊かにすることにより地域のお客様から信頼を得、社会に貢献する」を経営理念に事業を展開。「関西スーパーがあつてよかった」、「関西スーパーがあるからここに住みたい」と思ってもらえる店舗の実現・拡充を目指している。

そのためには、「強い関西スーパー」であらねばと、5千300余人の従業員(アルバイト含む)の先頭に立ち、陣頭指揮をとる井上保社長(昭44学経)を本社に訪ね、競争激化の業界で躍進に向けた熱いお話を伺った。

### 国内外の地震被害に義援金 宮崎県の口蹄疫被害にも1年間

先日、関西スーパーのお店で買物をさせていただきました。店内のポスターが目に入っただんですが、東日本大震災について売上げの1%を義援金として寄付されているんですか。

金曜日ですね。当社は、東日本大震災が発生した3月11日の「金曜日」を忘れないという理由により、新たな支援活動に取り組んでいます。平成7年1月17日に発生した阪神・淡路大震災で、神戸市・西宮市・尼崎市・伊丹市他において店舗倒壊をはじめ31店舗が被災し、甚大な被害を受けました。

地域のみなさまと共有した復旧・復興の試練のほか、全国各地のみなさまのあたにかいご支援とお取引先様からの物心両面にわたる多大な援助と救済をいただきました。

それ以来、国内外を問わず、地震に関する被害には店頭で義援金を募集して、集まった金額の倍額を

足して、例えば募金が50万円集まったら当社から100万円を足し、150万円を日本赤十字社を通じて送らせていただいています。最近では、2009年のサモア沖地震・スマトラ沖地震、10年のハイチ地震、チリ大地震、中国青海省大地震、今年初めのニュージーランド地震などです。

また、宮崎県の口蹄疫被害については、えびの高原の海拔720mのところに当社の契約牧場、720(ナニワ)牧場がありますので、牛肉の売上げ100gにつき1円の支援金を1年間継続し約760万円を宮崎県に送りました。

ただ、今回はちょっと規模が違うということで、地震の起きた金曜日に因んで毎週金曜日の売上げの1%を寄付することに決めました。

なお、今回の東日本大震災では、スーパー業界は大きな活躍をしました。国や地方自治体だけに頼っていたら、生活物資はほとんど被災地に行かなかったでしょう。スーパー業界は、わが社も含めてかなり多くの商品を被災者の手に直接届く方法で送りまし



東日本大震災義援金の店内ポスター

た。その意味で、スーパー業界は非常に大きな評価をいただきました。





井上 保 社長プロフィール

昭和22年	1月	大阪府東大阪市生まれ
昭和44年	3月	関西大学経済学部卒業
昭和44年	3月	(株)関西スーパーマーケット入社
平成元年	9月	商品部長
	2年	6月 取締役就任
	8年	6月 常務取締役就任
	12年	6月 専務取締役就任
	14年	6月 代表取締役社長就任(現在)
	15年	6月 (株)関西スーパー物流代表取締役社長就任(現在)
〔団体役職〕		
平成13年	6月	オール日本スーパーマーケット協会副会長就任(現在)
	16年10月	学校法人関西大学評議員(現在)
	18年	5月 日本チェーンストア協会副会長就任(現在)
	19年	6月 伊丹商工会議所副会頭就任(現在)

先代の北野祐次社長(現名誉会長)は、日本における本来のスーパーマーケットの基礎を作ったような人です。皆さんはイオンやイトーヨーカ堂、ダイエーなどをスーパーと思われていますが、あちらはゼネラ

と云われていた時代でした。ダイエー、西友、シロとかありましたが、まだまだ流通の中でも地位は高くなかったですね。関西スーパーも小さい会社でしたが、人事部の人が関大の卒業生で、その縁もあって入社しました。

当時のスーパーは、「スーッと出てパッと消える」と言われていた時代でした。ダイエー、西友、シロとかありましたが、まだまだ流通の中でも地位は高くなかったですね。関西スーパーも小さい会社でしたが、人事部の人が関大の卒業生で、その縁もあって入社しました。

関西スーパー入社の動機は何でしたか。

『流通革命』を読んで進路を決める  
業界は右肩上がりから競争激化時代に

また、パートさんからの正社員雇用もすでに20人ほどいます。小学校3年生になるまでの子どもを持つ社員は、日祝日休み、1日5時間勤務という例もあります。会社としてはいいのですが、育児が終われば大きな戦力になってくれます。

リストラはしません。わが社は人あつての会社ですから。ただ、基本的には終身雇用制ですが、年功序列ではありません。能力には個人差があります。これは仕方ない。とはいえ一生懸命やっている者は認めます。一生懸命の接客であれば、心は通じてお客さんはまた来てくれます。今年の春闘でも労働組合には「要求は聞く。ただし労働の質を上げてくれ」と回答しました。

「闘う集団」を目指して改革に取り組む人「あつての会社、基本的には終身雇用制」

関西スーパーは、昭和34年12月に創業され、平成21年に50周年を迎えられました。井上さんは平成14年6月に社長に就任されて、多くの改革に取り組まれたとお聞きしています。また、就任の挨拶で「闘う集団」を指すと表明されたそうですね。

就任時には、会社創立から約40年経っていました。その間、関西スーパーは日本におけるスーパーマーケットの草分け的存在から本格的なスーパーマーケットとして発展してきており、売上高も利益も右肩上がりです。しかし、競争が激しくなり、結構順風満帆でした。しかし、競争が激しくなり、利益はだんだん減少傾向に。経費が利益を圧迫してきました。それでも商品に自信があり、売上げさえ伸びれば良いと社員みんなが思っていました。私は、社長就任当初から、関西スーパーは大きな転換期に差し掛かっているという認識があり、課題

を全て洗い出したところ、何と30項目以上も見つかりました。その中から8項目の緊急課題を選び、社員の前で私の考えを繰り返し説明し、改革に取り組みました。赤字事業からの撤退、競争激化による本業の売上低迷状況からの回復、財務体質の改善、人事制度改革、組織改革、店舗改装などですが、闘うというのは生きるか死ぬか。ゆるま湯体質から脱却して勝つための集団にしなければならないと「闘う集団」を標榜したわけです。なお最近では「強い関西大学」という母校の意気に刺激を受けて、「強い関西スーパー」というフレーズを使っています。強いということは非常に重要なことでして、交渉事でもやはり強く交渉しなければならぬ、商品そのものも従業員も、強くならないならぬ、お客さまに信頼していただき、厳しい競争に打ち勝つためには「強い関西スーパー」を掲げたいと思っています。

さまざまな改革を進めておられますが、コストダウンのためにリストラは考えなかったのでしょうか。



ル・マーチャン  
ダイズ・ストア  
ー(GMS)と  
いって、雑貨  
や衣服、おも  
ちゃまで何でも  
扱います。今  
は状況が変わ  
りまして食品を  
中心にしないと  
やっていけない  
ようになりまし  
たが、本来の  
スーパーマーケ  
ットというのは、生鮮食品を中心としたセルフサ  
ービスの店のことを言うのです。GMSを含め、日  
本にスーパーマーケットが誕生して50年ちよつとの歴  
史ですが、その間にダイエーもニチイも長崎屋も無く  
なりました。われわれの業界も勝ち負けがはつきりし  
てきており、負ければ即、無くなります。それだけ厳  
しい業界です。銀行でさえも合併吸収などで無くな  
ったところがありますから、どの業界も同じと言えます  
が。

### 入社2年でハワイ、4年でアメリカへ 新しいものを見つけては輸入をした

入社後はどんな部門を担当されましたか。また、  
仕事をしてきた中で何か印象深いことはありますか。

私が入社した当時は、ちよつといろいろな制度が作  
られた時で、それに運良く乗ることができたという感  
じです。最初は仕入れの部門にいまして、入社2年  
後の昭和46年に研修でハワイに派遣されました。私  
が海外派遣第一号でした。1ドル360円の時代で  
す。48年にはアメリカに行かされました。ちよつと第

1次オイルショックの時で、「よし!」と思って、ア  
メリカでトイレトペーパーを買い付け、船で送った  
んですが、お客さんからクレームが入りました。なん  
と、幅が大きすぎてホルダーに入らなかったんです。  
「すいません。下に置いてお使いください」と謝りまし  
た。

日中国交回復の翌年になる50年には中国に行きま  
した。もちろんみんな人民服を着ており、今と違っ  
て何も買付けられないモノがなかったことを記憶していま  
す。ベトナム戦争が終わって10年目の年にはベトナム  
に行きました。今から30年ほど前になりますが、こ  
ちらも何も無かったのですが、今ではよく見かけます  
が、当時としては珍しかったドラゴンフルーツという  
果物を見つけて、それをシンガポール経由で日本に  
運びましたね。

そうそう、アメリカから、ネスカフェのインスタ  
ントコーヒーを日本に初めて輸入したのは私です。当  
時は日本ネスカフェ社しか日本での販売はできませ  
んでした。それをあえてアメリカから入れました。そ  
の後フィリピンとかいろいろな所から入ってくるよう  
になりました。

そういう情報は、どうやってキャッチするのです  
か。

直接現地へ行って、提携会社や商社から情報を得  
るのです。もちろん失敗もありましたよ。シャンブ  
ー・リンスは日本で許可されていない成分が入って  
いて検査に引っかかりました。紅茶のティーパックは  
糸に蛍光塗料が付いていてアウトでした。

食品への違法成分混入などがよく話題になる中国  
ですが、私が最初に行った時に比べ、中国産も非常  
に良くなっていますよ。ただ、日本の一部の業者が  
情報を偽るの困るんです。

中国の人ではなく、日本人がですか?

そうです。中国でできた物を日本産なんて言うか  
らおかしくなるんです。



六甲山で植樹する井上社長

中国産というと、どんな農薬を使っているか分  
からない。やっぱり買うのは止めようかと、何となく引  
き気持ちはありますが。

たとえばタケノコなどは一番安全なんです。だつ  
て農薬を使う必要が一切無いのですから。それを日  
本の業者が産地をこまかくらいいかんのです。

今は、中国で生産する時は、全部こちらから要求  
を出します。こんな施設を使い、こんな飼料を与え  
て育てなさいと。今回提携した養殖の鰻も、切身の  
一片でこの鰻が判ります。わが社の牛肉が従前か  
らそうなんです。肉の一片を取ればどの牛のどの部分  
か全部判るシステムを採用しているのです。そうい  
う点をきちんと明示し、お客さんにもよく知っていただ  
いています。

また、一度取引を始めた相手とは長いスパンで付  
き合います。フロリダからのグレープフルーツはもう  
6年になります。値段も高いですが、常に太陽が当  
たる場所だけの実を採って送ってと、無理を聞いて  
もらっています。

そうして仕入れないと国内だけでは供給ができな  
い状況です。スーパーのベースである食を提供する上  
で、商品を集荷する能力と調達する能力が落ちてく  
ることは、棚に商品が無くなることを意味します。  
われわれの使命が果たせないわけですから、店を閉め  
なければなりません。事は重大です。



食料の自給率が大幅に下がっており、心配しています。

日本では第1次産業があるそかにされていますね。日本はもつと作らなければいけないのに作れない。日本の農業は零細企業で、高齢化の問題もあります。何とか農家の人たち、酪農や畜産の人たちとこちらが一緒になってやっていきたいのですが、いろんな法律が壁になっています。だから外国から入れざるを得ない。輸入に関しても、最近は大分緩和されましたが、それでも法律の壁がたくさんありますね。

### ”ありがとう”と言われる店になろう 地域に密着した食育・体育活動を推進

社長になられて、常日頃心がけておられることは、私がいつも従業員に言っているのは「感謝」です。もう一つは、山本五十六の「やってみせ、言ってみせ」



平成23年5月にオープンした奈良三条店

せて、させてみて、褒めてやらねば人は動かじ」という言葉に共感し、忘れないようにしています。なぜかと言いますと、自分でやって初めて分かる事があるんですね。それを必ず確認してからものを言うようにしています。

今の若い従業員には、「お客さんに、ありがとう」と言われる店になろうや」と言っています。

関西スーパーを一言で言うところという店ですか。

「魚・肉・野菜などの食料品を、新鮮で価格もできるだけ安く、お客さんが使い易く食べ易い形で提供し、お客さんに健康な生活をおくってもらうスーパー」です。そのために全従業員一丸となって日夜努力しています。

また、信用・信頼を前提とした商売ですから、売場に並ぶ商品がどこで、どのように生産されているのかを実際に体験するツアーや料理教室、工場見学など「食育活動」にも力をいれていますし、地域交流の一環として、各種スポーツ教室や店頭イベント、自然体験活動などを行い、「関西スーパーがこの地域にあつてよかった」、「関西スーパーのある地域に住みたい」と言われる店舗の確立に努めています。

最初にお話した募金活動と同じく、社会貢献の一つとして六甲山の植林活動も行っています。これには本当に多くの方に参加していただいています。夏には新入社員の環境教育研修として熊笹などの下草刈りをやらせています。

新入社員研修ではもう一つ、宮崎県720牧場の産地見学があります。牧場内には畜産碑があるんですが、最初に案内された時は軽く頭を下げる者がほとんどです。それが一連の牛の屠畜・解体作業、もちろんドツと血の流れる場面もありますが、それを見た後は、全員が手を合わせ深く頭を下げますね。「いただきます」という言葉には、命を頂戴します」という意味があり、命ある食べ物と、それを育ててくれた人に感謝の気持ちを表す言葉だと解釈しています。

魚にせよ野菜にせよ、わが社で扱う商品はほとんどがそうですね。この研修で音を上げる者は、わが社には向いていないかなと思います。

### 将来に向け財務体質を強化 地域に役立つ出店を主眼に

最後に、これからの関西スーパーについてお聞かせください。長期ビジョンとして「チャレンジ100！2020年100店舗、年商2千億円」を掲げておられますが。

お陰様で昨年度は4店舗、今年5月には奈良県では初めての奈良三条店をオープンしました。株主さんから「阪神間だけでなく阪神スーパーに社名を変えたら」と言われてたんですが、奈良県への進出でようやく社名どりの会社になりました。

ただ、長期ビジョンは目標であることは確かですが、規模拡大だけでなく、地道にということも大事で、まず財務体質の強化を考え、3年間、毎年10億円赤字でも耐えられる体質にしようと公言し、実施しています。余計な借金はしないで減らしていき、資産価値も高めています。スーパーマーケットは、地域のお客様に毎日の生活に必要な食材と消耗雑貨を提供するのが使命ですので、出店に関しては地域の方々に喜んでもらえること、そこで役に立ち社会貢献できることを主眼に置いています。状況をよく分析し、店舗内容もしっかりしたものに関西圏に順次出店していきたいと思いますが、時にはストップをかけることもまた必要なことだと思います。

現在、東証・大証の2部に上場しておりますが、これからは1部を目指したいですね。

今日は長時間に亘り、貴重なお話しをお聞かせいただき、ありがとうございました。食の安全・安心を守りながら、ますます発展されますことをお祈りしております。

(聞き手 広報部・三木允子部長、西野京子副部長)

# 校友錄

# Kandai Kiratto

中学時代はバドミントン部でしたが興味関心と言え、ガットの張り具合は、

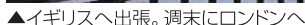
境から医療、科学、半導体、自動車計測など様々な分野の計測機器メーカー堀場製作所。ひとことでは

言うなら空気や水の中の成分、放射線といったような人間の五感では分からないものを正確に測る機器を作っています。社是「おもしろ おかしく」は、人生の一番よい時期を過ごす『会社での日常』を、積極的でエキサイティングなものにして欲しいという創業者の願いが込められているとか。男女の区別もなくチャレンジ・マインドを評価する会社でもあります。「もの作りの根源を支えている」と自負する石川さんに分析機器への想い、仕事の楽しさ、後輩に寄せる願いをお聞きしました。

おじぎ草やカビの生えたパン。  
知りたいことはいつも身近な場所に

大の工学部化学工学科を卒業し、研究者として堀場製作所の開発部に入社した石川さん。現在は、

分析装置の分析部門で分析結果の提供や最適な測り方のノウハウを提供しています。硬くて難しそうな仕事ですが、そもそも理系の道を目指すことになったのは、幼少期の家庭環境が大きく影響しているそうです。石川さんは兄と双子の弟を持つ四人きょうだい。小学校の入学前から、おじぎ草は触るとなぜ閉じるのか不思議に思っていたり、カビの生えたパンをこすりビニール袋に入れて、カビの増殖を観察するような女の子だったとか。「子どもの頃、家でトマトやナス、キュウリなどを種から育てていました。母は私たちがきょうだいに對して、実物を通して体験し、そのプロセスから学んで欲しいという考え方だったんです。家の近くに科学博物館もありましたから、弟と何十メートルの長さの糸電話を作って、相手の声が聞こえた時はすごく感動したこと覚えています。子どもの頃から知らないこと、知りたい



ど。」「そんな中学生つて、あんまりいいですよね」と笑います。そして、石川さんの進む方向を決定付けたのが高校時代で済んだ。二人の先生と巡り会ったおかげで数学と化学が大好きに。数学の先生は、「数学はいろんな興味につながる。『なんだよ』」と言い、化学の先生は「化学を通して世の中の役に立つことを学んでいるんだよ」と言ったそうです。多感な年齢の石川さんには、先生のことばがとても印象に残り、大学は理系に進むことを決意します。「理学部はカチャカチャとビーカーを振るイメージでした。それに對して、工学部はダイナミックに思えたんです。間違いない、社会の役に立つものを作るんだという」。そして、関大の工学部に入学することに。関大を受験したのは、総合大学で様々な価値観の人と出会いたかったからだそうです。入学後はテニスサークルに入部。そこは文系の学生が多いサークルでした。「理

系の人がロジカルに  
ストーリー立てて話  
すのに対して、文  
系の人は感覚的に  
捉えて、思いついた

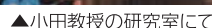
ことをバツと表現するんです。一瞬のひらめきが光っているというか。目標に邁進することでも大切ですが、ハプニングを楽しむ大切さ——今で言う、ハプンスタンス・アプローチ——を教えてくれた

石川さんが所属していた炭素材料研究室の小田教授には、視点を広げることや異なるものを認めること、そして、今自分のしていることが、後にどういう影響を及ぼすか意識することを叩き込まれたとか。「私の関大のイメージは大らかで家族的。研究室のみんなも朝から晩まで、面白がつて勉強していました。学生時代に教わつたいろいろなことに、今でも本当に感謝しています」と関大時代を振り返ります。

求められる分析技術をもとに  
現代社会のニーズを掴む

川さんが就職活動をしたのは、バブルが弾けた翌年。それまで菓子折りを持つて挨拶に来ていた企業の人

事担当者がばったりと姿を消したという年だったそうです。特に、理系の女子学生にとっては打つて変わつて厳しい状況になり、研究室では教授推薦でも落ちる人が出てきました。はじめから女性を採用しない、という企業が続出したと言います。そんな中、石川さんは当時の社会的な課題だった環境問題に関心があつたこともあり、地球環境に貢献していた堀場製作所に注目しました。女性の不採用が多い中、また断られるかと恐る恐る人事部に「女性なんですけど……」と電話をかけてみると「それが何か？」という返事。「堀場製作所は、性別ではなくて人を見る会社なんだって思いました。それに地球環境に貢献していると言っても、直接的な機器を作っているのではなく、地球環境を正確に分析する、





そのための基礎データを出す計測機器を作っている会社だったんです。つまり、産業を支える根幹の機器を作っているということに大きな魅力を感じました」。

石川さんは、ものの真の姿は、数値でこそ判断できると考えており、世の中のニーズを見ながら分析を行うことが大切だと言います。現在のアプリケーションリサーチ部の前身である分析センター時代、石川さんはひと月に一度は海外出張をする時期があるなど、三十歳前後で製品を通してクライアントと関わる第一線のフィールドに出る楽しさとやりがいを実感しました。しかし、何より嬉しかったのは、堀場の分析結果が活かされ、クライアントのメーカーから新しい製品が生まれて世の中に出ること。「あの時の分析が、こんなふうに活かされて社会の役に立っただと分かった時は、本当に嬉しかったですね」と語ります。

堀場の分析機器で調べていることはもちろん地球環境に関するものではありません。身近なところでは、食べ物に混入した異物を発見する、おいしく感じられる材料比率を分析する、芸術作品の塗料から年代を調べるということもあるそうです。「例えばチョコレート。同じカロリーなのに甘さが全然違うことがあります。これは舌のひだの中に入る粒子の大きさによって感じられる舌触りや甘さが違ってくるから。口どけがよく甘すぎないチョコレートを作るには、どんな粒子の原材料を、どういう比率で混ぜればいいのかというような分析です。他にも、リンスが本当にキューティクルに良い作用を及ぼしているのかどうかといったことを調べることもあるんですよ」と話します。



▲分析センター内、担当する分析機器の前で

石川さんはユーザーがなぜそれを測りたいのか、測ることで何を求め、どんなメリットがあるのかを考えて分析機器を提案しています。それはつまり、先述したように、様々なメーカーを通して世の中のニーズを見ることが他なりません。「私たちの仕事は産業を支えている、人々の暮らしを支えているという自負があります」と現在の仕事に対する思いを語ってくれました。

## 妊娠・出産がきっかけで 広がった新しい視点

石川さんは、チームリーダーとして仕事が一番忙しく、また二番楽しかった時期に産休・育休を取ることに

なります。「それについてはとても悩みました。でも、視点を変えて見てみることを楽しもうと考えたんです。これもハンス・アプローチの考え方ですね」。そこで、石川さんが下した決断は後輩たちを育てるために、敢えて長期間休むことでした。「三ヶ月とか中途半端な期間ではなく、彼らが自分でやるしかないという状況を作ることになりました。戻ってきた時に私の居場所がなくなるくらい、成長して欲しいと思いました」と話します。一年半後、復帰して戻ってきた時は、新人社員のような気持ちだったとか。現在は短勤務ということもあり、業務を倍速でこなしているそう、ランチタイムにミーティングが入ることも増えたとか。ミーティングと言っても、納期や成果が求められる業務の打ち合わせだけでなく、既婚女性をはじめ、ママさん社員や妊婦社員など、これまであまりゆとり話ず機会がなかった他の部署の女性社員が集うことも。その時間は仕事だけではなく、女性ならではの話もできる大切なブレイクタイムになっているそうです。最後に今後のビジョンをお聞きすると、若手育成のプロセスを楽しむこと、分析機器のソリューション・プロバイダー（お客様が抱えている課題に、最適で効果的な分析手法を提案することで解決する）を目指すこと、子どもにも働く背中を見て何かを感じ取って欲しいことの三つがあげられました。「あと、理系の女性は男性社会の中で一途に頑張りがち。でも、物事を楽しむスタンスで取り組めば『女性』ではなく『個性』として認められると思います」。



▲お子さんと一緒に2010年

# 出産・育休を経てマネジャーで復帰 「プロセス重視」のしなやか理系

石川 純代さん

## プロフィール

石川 純代（いしかわ すみよ）さん

（株）堀場製作所 開発本部 アプリケーションリサーチ部 マネジャー。  
一九九三年 関西大学 工学部 化学工学科を卒業し、堀場製作所に入社。開発部署、環境工業計測開発部に配属される。四年目に分析センター（現部署の旧名）に異動、現在に至る。多岐に渡る分析のニーズをユーザー目線で提案、解決する。二〇〇九年から約一年半の産休・育休後、今年四月より復帰。一児の母。

## 新しい祭り・第1回大阪マラソンを応援！ 協賛団体としてさまざまな取り組みを実施

「マラソンを通じて大阪の街を元気に」との趣旨のもと、10月30日（日）に大阪城公園前をスタート、インテックス大阪をゴールとする「第1回大阪マラソン（OSAKA MARATHON 2011）」（主催：大阪府・大阪市・大阪陸上競技協会）が開催される。

大阪マラソンは、単なる「マラソン大会」ではない大阪独自の新しい「祭り」として、世界各地から3万人のランナーを募るとともに、世界でも多くの人がチャリティーに参画することをめざす大規模市民マラソンとして企画され、

趣旨に賛同した関西大学は、早くからオフィシャルスポンサーとなり、大会に向けてさまざまな取り組みを行っている。

具体的には、海外協定大学を通じて大会の広報活動、マラソンや大阪の魅力を紹介する一般市民向け公開講座、スポーツ教室を開催。また、英語、中国語、朝鮮語が堪能な学生・留学生・職員など通訳ボランティア23人と、給水ボランティアとして学生や生徒ら400人を派遣するとともに、当日コース沿道に設けられるイベントスペースでは、応援団はじめ学生の各団体が観

客とともに応援イベントを繰り広げるなど、協賛団体として大会運営に協力する。さらには、教育・研究機関としてこのマラソンに関する学術調査を行うことになっている。

今回の協賛は、大阪を拠点とする総合学園として、この祭りに加わり、盛り上げることで、大阪・関西の活性化、元気な大阪と日本の復活に貢献すること、また、学是として掲げる「学の実化（じつげ）、すなわち「学理と実際の調和」、「国際的精神の涵養」、「外国語学習の必要」、「体育の奨励」の理念を、大阪マラソンを舞台に実践することを目的としている。

### 大阪マラソン開催

#### 『記念シンポジウム in 関西大学』を開催

大阪マラソンの開催を記念し、9月24日（土）には、『今、なぜ、スポーツボランティアなのか』と題する記念シンポジウムが開催される。

市民マラソンにおけるスポーツボランティアの果たす役割、及ぼす効果・影響などから、成熟した社会の実現のために、あらゆるボランティアが担う役割や社会的意義について考えるもので参加費は無料。

ぜひ、校友の皆さんもご参加ください。

開催日時 9月24日（土）午後1時30分～4時（午後1時開場）

会場 千里山キャンパス・BIGホール100

#### 【プログラム】

第1部 基調講演

「ランナーから見たボランティア」

講師 谷川真理氏（マラソンランナー）

第2部 パネルディスカッション

「スポーツボランティアは地域を変えられるか」

パネリスト

宇佐美 彰朗氏（NPO法人日本スポーツボランティア・アソシエーション理事長）

松本 勝己氏（大阪マラソン組織委員会事務局調査役兼事業運営部長）

西山 哲郎（関西大学人間健康学部教授）

安田 雪（関西大学社会学部教授）

杉本 厚夫（関西大学人間健康学部教授 コーディネーター 兼務）

なお、問い合わせは、関西大学広報課（06 6368 0007）まで。



ネット契約で保険料を節約！まずはお見積から。

自動車保険 **そんぽ24**  
海外旅行保険 **OFF**  
損保ジャパン

<http://www.union-sv.com/car>

<http://www.union-sv.com/travel>

関西大学生協グループ

保険代理店事業部・事務機器事業部  
総合保険代理店

Risk Consultant & Financial Planner  
株式会社 ユニオンサービス

[info@union-sv.com](mailto:info@union-sv.com) <http://www.union-sv.com>

本社・豊中営業所 豊中市新千里北町2-20-8／吹田営業所 吹田市佐井寺4-43-8／関大支店 吹田市千里山東3-10-1 関大生協内 TEL0120-50-5421





## 第4回氷の甲子園を開催 80人が練習成果を披露

高槻キャンパスアイスアリーナで7月9日と10日、第4回「氷の甲子園」が開催された。初日にはジュニアスケーターによる演技会が行われ、途中停電するハプニングがあったものの、小中高生約80人が日頃の練習の成果を披露し合い、上位者には表彰状とメダルが贈られた。

また、本学OBで世界フィギュアスケート殿堂入りを果たした佐藤信夫氏から佐藤信夫賞・久美子賞が授与され、

サブライズゲストとして登場した織田信成選手（M文1）は、「みなさんのレベルの高さに驚いた」と選手らの健闘を讃え、各クラスの優勝者にはサイン入りTシャツをプレゼントした。

エキシビションでは、町田樹選手（文4）が前日完成したばかりという新SPを初披露し、さらにプロスケーターで本学アイススケート部コーチの田村岳斗氏が華麗な演技を披露すると、市民や保護者、学生など約500人で埋まった観客席は大いに盛り上がった。

## 国際化推進で4大学協定 阪大・神大・関学大と

関西大学、大阪大学、神戸大学、関西学院大学は、国際化推進に向けたネットワーク形成に関する協定を締結することで合意に達し、7月27日に大阪大学豊中キャンパスで協定書の調印式を行った。

今後、4大学間での教職員や留学生の交流、留学生と産業界の交流、海外拠点での活動、さらには情報や資料の交換を行うなど、国際化を推進するうえで連携を図っていくが、4大学の関係教職員が定期的に会議を開き、連携して取り組む具体的な事業を検討していく。

そのはじめの取り組みとし



て、7月30日にはタイ・バンコクで4大学合同留学フェアを開催。また、8月3日には大阪大で教職員ワークショップを開き、各大学の国際化推進の現状などについて意見交換した。

## 進学ブランド力調査で 志願度ランク関西1位

（株）リクルート社が実施し、7月21日に発表した『高校生に聞いた大学ブランドランキング 進学ブランド力調査2011』において、関西大学は、4年連続で、関西圏における「志願したい大学」のランキングで第1位になった。2位は近畿大。

この調査は、関東・東海・関西エリア在住で2012年3月に卒業予定の高校3年生7万2656人を対象として実施されたもので、志願度の男女別では男女とも1位。文理別では文系1位、理系6位となっている。

また、関西圏における「知っている大学」の総合ランキングは昨年に続き2位だが、男女別では男子1位、女子2位。文理別では文系・理系とも第1位になった。

なお、イメージ項目別ランキングで、10位までに入っ

お母さまへ

**主婦がコツコツと手造りで  
ご良家のご縁結びをしています。**

高槻の隣り町 島本町

TEL.075-961-7405

吉川 味与子  
(関西大学卒業生の妻)

**血糖299が2カ月で94に!ヘモグロビンA1Cも11.5が6.9に!**

**糖尿病に燕子掌**

ヘモグロビンA1C値の改善にお役立て下さい。

『お薬、食事、運動など今まで何を試しても下がらなかったA1C値...今回、やっと下げたモノが見つかりました!』と、多くの方にお喜び戴いている特許新成分です。

▼この漢方・燕子掌の詳細資料・改善データを無料で送ります。

特許番号 第2535674号  
0120(090)358  
ヘルスケア研究所

**資料無料送付**

えんしよ 燕子掌  
180粒 18,900円(税込)  
糖尿110番 検査

# 大学・学生関係



## 台湾での日本留学フェアにブース出展

### 留学生OB会と交流会も

いるのは、「校風や雰囲気が良い」3位、「親しみやすい」2位の4項目。ユラムが魅力的である」7位、

7月23日(土)に台湾の高雄、24日(日)に台北で行われた「2011年度日本留学フェア」に関西大学がブースを出展しました。「日本留学フェアin台湾」は、台湾の学生が日本留学を志し、希望に合った大学等を選択して実りある留学を達成できるようにするために、独立行政法人日本

学生支援機構が毎年開催しているものです。本学ブースには実に約400人の方々に立ち寄りいただきました。

このフェアへの参加を機に、7月23日、台北市内において校友会関係の台湾交流会が開催されました。国際部カイト由利子教授をはじめ大学関係者が出席、総勢14人の賑やかな会となりました。台湾からの参加者は校友や在学中の方々です。

交流会はカイト教授より開会挨拶があり、台湾留学生OB会・李銘坤会長の乾杯の音

頭で和やかな雰囲気の中で始まりました。国境を越えて校友の絆を深めようと、それぞれが和気藹々とした中で出会いを喜び、また再会の約束をして、大変有意義な時間を過ごしました。

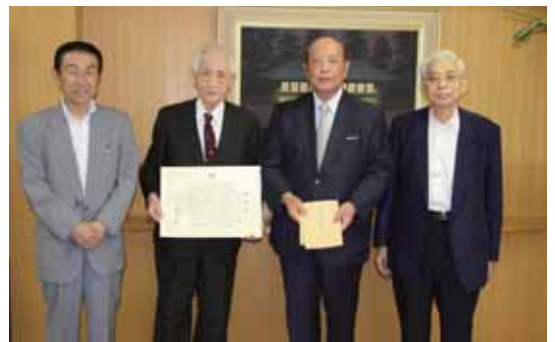
翌日に開催された台北での日本留学フェアには、たくさんの方々がブース出展のお手伝いに来てくれました。皆さまの母校愛を感じ、大変実りあるブース出展となりました。今回交流会へご出席いただきました方々、またブース出展をお手伝いいただきました方々に、心よりお礼を申し上げます。

(国際ブラザグループ・AO入試グループ)

## 苗村さんが軍事教練の貴重資料を大学に寄贈

戦争末期、九州に存在した万世特攻基地にまつわる資料館の整備などに熱心に取り組んでいる苗村七郎さん(昭和18大経)が8月10日、戦時中の昭和17年10月に大阪府下で実施された学徒を対象とした大規模軍事演習の実態を詳細にした「大学高等専門学校学徒野外聯合演習実施要綱」を大学に寄贈した。

この「要綱」は戦時下、京



阪神の大学や高等専門学校などが南北両軍に分かれて野外演習を行うにあたり、部隊編成をはじめ作戦内容などを詳細に取り決めたもの。関西大学の学部、予科、専門部に關する記述もいくつか見られる。こうした資料は現在、ほとんど残っておらず、戦争中に実施された学徒を対象とした大規模軍事演習の内容を具体的に知ることができる点で非常に貴重なもので、今後、本学の歴史的資料として活用が期待される。

本文44ページに、数枚の付表がついたこの冊子は、昭和36年に死亡した苗村さんのお母さんの遺品の中から発見されたという。

仲介の労をとった畑下辰典

**ANSAI KUグッズ UNIVERSITY**

For Memory&Campus Life

記念品やお土産に是非ご利用下さい

●詳しいお問い合わせは

関西大学生生活協同組合 TEL:06-6368-7536 E-mail: ku-shop@kandai.ne.jp

インターネットからお申込みいただけます ⇒ <http://www.kandai.ne.jp/>



元校友会会長らと理事長室を訪れた苗村さんは、「実施要綱」を上げ、南軍の「航空隊長」として名前が記載されているところ、布陣図などを指で辿

りながら、当時の状況を詳しく説明のあと、「保管をよろしく」と上原理事長に手渡した。大学では、理事長名の感謝状を贈り、謝意を表した。

## 国際部のA・ベネット准教授が

### 世界なぎなた選手権で準優勝飾る



7月3日に姫路市の兵庫県立武道館で開催された第

5回世界なぎなた選手権で、男子個人の部に出場したアレキサンダー・ベネット国際部准教授が、日本の強豪選手を相次いで破り、準優勝を飾った。同大会は4年に一度開催されており、日本での開催は第1回大会以来16年ぶり。

### ユニバ・サッカー優勝 代表選手の櫻内が活躍

第26回ユニバーシアード夏季競技大会は、8月12日から23日まで中国の深圳で開催さ



(撮影/飯嶋玲子)



れ、日本のサッカー男子は、3大会ぶり5度目の優勝を飾った。

日本代表選手として出場したサッカー部の櫻内渚（政策4）は、予選リーグ3試合中2試合に、決勝リーグでも英国との決勝はじめ3試合中2試合にフル出場し、優勝に貢献した。

9月1日には大学・校友会等に優勝報告に訪れ、寺内会長からは「おめでとう！この経験を糧にこれからも活躍してほしい」とお祝いの言葉と記念品が贈られた。

なお、櫻内は2012シエズンの新加入選手としてジュビロ磐田への加入が内定している。

### 空手道部の梶川が 全日学生で4連覇

7月3日に東京の日本武道



館で行われた第55回全日本学生空手道選手権大会の女子個人形で、空手道部の梶川凜美（りみ）文4）が史上2人目となる4連覇の偉業を達成した。

予選を難なく通過し、決勝トーナメントでも全国のおつものたちを次々破り、決勝戦へ。梶川は得意とするチャタンヤラクーサンクーを選択し、堂々の形をみせつけ50で勝利し、4連覇を成し遂げた。

### 射撃部、西日本でW優勝 全日選抜で女子が準優勝

6月24〜26日に熊本県ライフル射撃場で行われた西日本学生射撃選手権大会で、射撃部は男子が3年ぶりの総合団体優勝を果たし、女子は4連覇を達成、男女ダブルの総合団体優勝を達成した。異常な猛暑の中で行われた大会で、関大の男子メンバー、園部和貴（経4）、有澤健吾（政策3）、藤平卓也（経3）、中野翔太

ビルメンテナンス業界初のISO-9001, ISO-14001, OHSAS-18001 三規格認証取得企業として、「作業品質&マナー」「環境」「安全」の向上を通じ、オーナー様・ユーザー様からの信頼に応えます。

## 株式会社 大阪ビルサービス

〒540-0012 大阪市中央区谷町二丁目4-5 Tel 06(6941)3306 E-Mail info@obsf.co.jp



ISO-9001



ISO-14001



OHSAS-18001



# 大学・学生関係



(文4)、田邊伊織(化3)と女子メンバー、堀抜くるみ(社4)、松本靖世(文3)、山川七海(文3)、黄瀬優稀(文2)は、体調を崩すこともなく、良く踏ん張ってくれた。

その一週間後、新潟県に会場を移し、7月2〜3日に新潟県ライフル射撃場で第7回日本学生選抜ライフル射撃選手権大会が行われた。スケジューリング的には関東勢に余裕があり、関西勢には過酷な大会となったが、女子は総合団体では日本大学に僅か2点及ばず準優勝、連覇はならなかった。ただ、50m3姿勢60発競技女子団体では、堀抜くるみ、山川七海、松本靖世のメンバーが団体優勝し、負けても関大女子は強かったと感じた大会だった。



本年度、残りは2大会。「強い関大」の一員として、結

果を残す頑張りを期待している。(監督 女川隆)

## 全国学生能楽コンクールで文化会能楽部が最優秀賞受賞

7月31日に名古屋市名古屋能楽堂で開催された第3回全国学生能楽コンクールで、8大学が出場した中、文化会能楽部は最優秀賞を受賞しました。

本コンクールは、名古屋名駅新能と併催され、流儀を問わず全国の大学・大学院の能楽部が出場対象となっていました。各大学はシテ、地謡を含めた5人以内のチームで仕舞、または小舞一番を演じ、最優秀大学は名駅新能の舞台でエキシビジョンとして演技をすることができました。

関大能楽部は、昨年も出場

し、審査員特別賞を受賞しましたが、自分たちのベストを尽くして最優秀賞を逃したことに、悔し涙を流しました。今年はその悔しさをバネに、必ず最優秀賞を、との思いで舞や謡の稽古は勿論、昨年の教訓をふまえて選曲や舞台での所作などにも気を配って準備をしましたので、まさに「本望を遂げた」という心持ちです。

そして、今年は新能の舞台でも演技させていただき、千人近くのお客様の前で舞台を勤めるのは初めての経験でしたが、晴れ晴れとした気分と共に、最優秀賞をいただいた実感が湧いてきました。

今回の結果は能楽部にとって大変に喜ばしいことではありますが、これに驕ることなく、今後も気を引き締めて励んで参る所存です。

最後になりましたが、このような結果を修めることが出来たのも、師匠はじめ、OB・OGの皆さまやその他たくさんの方のご支援があつ



てのことです。お世話になった方々に、この場をお借りしてお礼申し上げます(能楽部主将 西口 唯)

## 関大生500人らが淀川の大掃除を実施

淀川河川公園で8月7日、関大生ら約500人とミズノ(株)の社員30人が淀川大掃除を実施した。

5年目となる今年は、今年1月に国土交通省近畿地方整備局淀川河川事務所長から本学ボランティアセンター学生スタッフが「淀川サポーター」に認定されたことを受け、規模を拡大し、連携協定を締結しているミズノ(株)をはじめ、タマノイ酢(株)や久光製薬(株)、国土交通省近畿地方整備局淀川河川事務所の協力を得て実施したもので、河川公



園では前日に花火大会が行われおり、学生たちは朝9時からペットボトルや割箸など約3・5トンと大量のゴミの回収に汗を流した。

関西大学・教育後援会・千寿会・一高・一中・幼稚園ご下命店  
学・校章型薯蕷(上用)謹製

和洋菓子司

株式会社 昌月堂

〒556-0011 大阪市浪速区難波中3丁目13番28号  
電話(06)6641-1666(代) (06)6641-6565(代)  
FAX(06)6647-6478・(06)7662-6550

代表取締役 山本 雅己(S53学1法卒)

厚生大臣賞  
日本食品衛生協会賞





# オース!ごきげんさん。

連載 39



エルサルバドルでの仲間たちと

日本の警察学校では、武道教官は柔道・剣道の  
高段者である警察官が、  
身分替えした職員が選  
抜されているが、ここ  
ではほぼ一般人から募集  
したプロの指導者で占めら  
れている。彼らは前任者に2年間  
の合気道の指導を受けているものの、  
外人特有の足腰は弱く、座技について  
は全く話にならないが、立技については  
一度教えると修得も早く、自分の物に  
してしている。欠点は日本人と違って  
忍耐力に欠け、応用が利かず、また創  
意工夫や改善が見られず、自発力に欠  
ける面があり、精神面の脆さが見られ  
る。この事は、どうも国家任せ、他人  
任せに繋がっており、この国自体の他

国に依存する体質にも繋がっているよ  
うに思える。

エルサルバドルは、中米7カ国の小  
さな一国で、メキシコとパナマの中間に  
位置し、面積は四国程の大きさで、約  
616万3千人(2008年統計)が  
居住しており、共和制国家である。19

年前(1992年)に内  
戦が終了し、急速な経済  
復興の結果、マラスという  
犯罪組織が暗躍しており、  
一日平均11・85人(20  
09年統計)が殺されて  
いる。このような状況下  
で、国家安全警察学校で  
の逮捕術に資するための合  
気道指導は、小生にとつ  
て、不安はあるけれども大  
きな目標となって、第二の  
人生の賭け甲斐があると信  
念している。

国家安全警察学校は、  
唯一の国際空港コマラパ  
空港の横の広大な土地に  
あり、年間1千人以上が  
巣立っている。活動の場  
である道場は、畳もある本  
格的な道場で、学生は逮捕術を訓練し  
ている。他には射撃訓練、拳銃・ライ  
フル銃を携帯しての建物進入訓練(イ  
ンテルヴェンション)等があり、日本で  
は特殊部隊が訓練していることを、こ  
こでは警察官の卵が訓練している。  
本来の活動以外では、平日の夜に合  
気道の既存道場での指導に加えて、私

## 青春の夢を追い求めて

〈下〉 川原 正

自身の道場での指導、更に土曜  
日の午前中、剣道協会の愛好者  
に対する剣道、剣術指導、居合  
の指導も行い、技だけでなく武道  
の起源、時代背景、社会的役割、  
礼儀作法等についても指導してい  
る。武道以外では、JICA応

募以前に1年間働きのなが  
ら夜間の日本語教師養成  
専門学校へ通い資格を取  
っていたことが功を奏し、  
日本語指導も請われて週  
1回2時間の時間を当て  
ている。

合気道指導の活動以外  
に、JICAでは日本文  
化紹介といったことも義  
務付けられており、学生時代か  
ら続けている詩吟についてもこ  
こでは役に立っている。書道や  
空手の型とのコラボをしたりし  
て紹介している。わが関大吟詩  
部は、関西吟詩文化協会の発  
祥の地であり、着任後は、エル  
サルバドル支部を設立すべく奔  
走しているが、残念ながら習い  
たいという在エルサル日本人や

エルサル人はいない。

来年3月には帰国することとなるが、  
今のところは帰国後の進路は未定であ  
る。ただ、これまでの人生の重要な岐  
路においては、私には詩があり、関大  
魂があり、願望や夢は常に持ち続けて  
いたことが、どれ程助けられたことであ  
るか。「人間至る所に青山在り」の如



逮捕術を指導する筆者

### 川原 正(かわはら・ただし)

昭和25年神戸市生まれ。兵庫県立鈴蘭台高等学校を経て、昭和44年関西大学社会学部に入學。  
吟詩部に所属し、学生時代を過ごす。48年3月卒業。  
卒業後、貿易会社を経て兵庫県警察巡査を拝命、平成18年  
警部で早期退職し、ガス関係の会社へ再就職。その後長男  
が兵庫県篠山市に鍼灸整骨院を開業するに当り準備に奔走。  
平成21年3月からJICAシニアボランティアとして、エルサル  
バドルに合気道指導で赴任。  
信条は「進歩と向上」、尊敬する人物は中村 天風。詩吟7  
段、韓国語、英語検定2級。  
武道暦は、合気道4段、剣道4段、柔道2段、空手7段、天  
真正伝香取神道流を修める。

く、いつまでも若者の気持ちを持ち続  
け、人生を謳歌しようではないか。今  
はそう思っている。

# 北から 南から 〈各地支部だより〉

## 九州地区の7支部が総会を開催 支部交流・他大学交流も活発に

出席46人で平成卒が9人  
初参加者紹介や抽選会

北九州支部（坂口勝利支部長）総会は、校友会本部を始め福岡、佐賀、熊本、山口から来賓を迎え、7月23日にリーガルイタルホテル小倉で開催した。

学歌斉唱に続き、今年度は当支部の物故者に加え、東日本大震災で亡くなられた方々の冥福

を祈り黙祷を捧げ、厳かな雰囲気の中に総会が始まった。

坂口支部長の挨拶に続いて、来賓の一軸校友会顧問、花田福岡千里会名誉会長から挨拶を頂いた後、22年度の活動報告、役員改選等の議事に移り、出席者全員の拍手で承認された。役員改選では、中畑副支部長の後任に今井明美氏、岩水幹事長の後任に西原正人氏が選任された。

恒例となった当支部校友による講演が終わり、懇親会がスタート。懇親会は総会初参加者の紹介やお楽しみ抽選会など大いに盛り上がり、最後は逍遙歌で締め、万歳三唱で無事終了した。

今年度の総会出席者は46人、うち平成卒業生が9人。今後は、特に平成卒の校友に声をかけ、総会出席者の増につなげていきたい。

（西原正人）  
（北九州市八幡東区役所区次長 西原正人）093 671



0801  
現役学生4人が出席  
母校の話に花が咲く

7月30日、熊本ホテルキャッスルで熊本県支部（野々口瑞穂支部長）の総会及び懇親会が行われた。参加者は黒田勇副学長をはじめ、大学関係者、校友会関係者、九州各支部や千里会の代表、関学、同志社、立命館の熊本支部の代表の方々を来賓に迎え、熊本の各界で活躍する老若男女（昭和31年卒～平成23年卒）の校友を含め、総勢40人の参加となった。

学歌斉唱から始まり、お開きの応援団OBの演舞に合せての逍遙歌まで、昨今の母校の現状を知ったり、旧交を温めたり、福引大会を兼ねた各自の近況報告を楽しんだりした。特に東日



## 組織部からお知らせとお願い

～地域支部ご担当者のみなさまへ～

### 地域支部活性化プロジェクト始動

例年は、全国組織代表者会議で各支部活性化の活動報告してまいりましたが本年度はこれまでより一層深化すべく本部と支部が直に協議し意見交換を行う場を設け、支部発展に向けて「地域支部活性化プロジェクト」を立ち上げました。

まず組織部の担当者を決め、大阪府下を中心に3グループ36の各支部に対して状況をお聞きし、具体的に訪問予定を立て、順次実施していきます。

8月末実績としては、大東支部、高石支部が復活総会の開催を決定。和泉支部が活性化した再建総会を開催しました。

今後は、支部強化に積極的に取り組んでいる支部の活動への訪問、再構築を望む支部、活動が停滞している支部など、支部の役員会や幹事会にお伺いし具体的に活性化に向けて取り組んでいきたいと考えています。

ご意見、ご要望などは、校友会事務局（電話 06-6368-0041～0045、FAX 06-6380-8476、Eメール koyukai@ml.kandai.jp）までお願いいたします。



本大震災における関西大学の復興支援事業や被災地出身の学生を擁護する大学の姿勢には多くの校友が感銘を受けていた。

今年は、熊本出身の現役学生のうち4人が参加し、今後の熊本支部にとつての明るい材料になったとともに、懇親会の盛り上がりにも花を添えた。経済学部4回生の宇戸口成美さんは、「こんなに素晴らしい先輩方とお会いできて幸せです。関大のパワーを感じています。」と興奮気味に話していた。

参加者からは、こういう機会をもっと増やせないか、といった意見が多く聞かれた。忘年会の計画、若手の校友だけの同窓会、関関同立対抗ゴルフへの参加など、まだまだ拡大の余地もある。若手の中心メンバーとなっている井上雅文さんは、「年内を目標に若手の同窓会をやりましょう。平成以降の卒業生でどうでしょうか。ボウリングやカラオケなど、若者だけで気楽に盛り上がる機会を作りたいと思います」と意気込んでいた。

年に一度のこの機会、熊本県内において各界で活躍している校友が一同に会することで、異業種交流、異業種理解の場ともなっており、仕事の上での意外なつながりを発見したり、また「困ったときの校友頼み」の輪といた付加価値もありそうだ。

今後多くの県内在住の校友の参加を呼びかけて、若い人が多く参加できる会となるよう運営していきたい。

(幹事長 宮田忠明)  
宮田忠明 096 340 1167

### 阪急から10人初参加 会場に関西弁が溢れる

8月6日、ホテルグランドハイアット福岡で、福岡千里会(白木成光会長)総会並びに懇親会が開催された。

1部総会では、亡くなられた校友、広島及び長崎原爆の被害にあわれた方々へ黙祷を捧げた後、学歌斉唱。白木会長の挨拶に続き、田中義昭校友会副会長から後輩の活躍や母校の近況報告をいただき、参加者全員あらかも千里山にいるかのような感覚を、しばしの間味あわせてい



ただいたた。事業・会計報告、今年度の予定及び若手会活動の発表があった。

2部懇親会は、場所を移して開催。来賓の大学法人、校友会、各支部及び関関同立の皆さまを紹介後、花田正利名誉会長が歓迎挨拶。続いて楠見学長、増地常務理事から、関大の現況分析と将来戦略についてお話いただき、出席者一同、母校に想いをこめて、東郷洋校友会事務局長の音頭で乾杯!、楽しい宴に突入した。

今春、九州初お目見え・阪急からの10人と関西方面からの転勤者等初参加者を迎え、恒例の自己紹介をばさみ、来賓としてお見えの近隣各支部からのお土産争奪ジャンケン大会や、角田SBMC顧問から提供のソフトバンクホークス観覧券を配る等、会場内には100人余の関西弁が溢れ、多に盛り上がり、最後に高らかに逍遙歌を合唱し、応援団OBによる各支部及び関同立へのエール交換の後、来年の再会を約してお開きとなった。

(幹事長 出口積次・51工建)  
(安藤造園土木・白木成光) 092 841 4141

### 新会長に前村氏を承認 初のカラオケ大会開催

23年度の宮崎千里会(山口道

雄会長)総会・懇親会を8月19日に開催した。

今回は、若手男性会員の初参加や女性会員の参加により、総勢30人の開催となった。最年長は昭和29年卒、最年少は平成18年卒の幅広い年齢層での交流を行うことができた。

来賓に、寺内校友会長、東郷事務局長、白木福岡千里会長を迎え、心温まる祝辞をいただいた。学歌斉唱、山口会長の挨拶、乾杯と進み、宮崎ならではの伊勢海老、鮎などの海や川の幸、宮崎牛などに舌鼓をうちながら、和気あいあいとした雰囲気の中で親睦を深めることができた。

今年初めて「カラオケ大会」が行われ、校友の自慢のものが披露された。諸先輩方のいつも見ることのない一面が垣間見えて、大変楽しい会であった。

来賓の方には、宮崎の郷土人



形である「佐土原人形」を、製作者で、県伝統工芸士の阪本兼次氏(昭61法)が贈呈し、お土産としてお持ち帰りいただいた。喜んでくださったことと思う。

それから、例年好評のビンゴゲームが行われ、「リーチ、ビンゴ」の音が飛び交い、賞品を手にして喜ぶ姿が今年も見られた。

最後に、役員改選の報告を行い、前村幸夫新会長が「宮崎千里会の更なる活性化にむけた活動への抱負」を述べ、他の新役員との紹介の後、皆の健康を祈念して閉会となった。

(昭55工機 竹田浩昌)  
竹田浩昌 0985 47 2 777

### 関関同立の支部相互交流 阪神大震災を機に始まる

鹿児島千里会(桐原琢磨会長)の23年度総会が、8月20日にジェイドガーデンパレス翠園で開催された。

来賓として、寺内俊太郎校友会長、池内啓三専務理事、黒田勇副学長、白木成光福岡千里会長らを迎え、交流活動として関学の黒坂信彦幹事、立命館の前迫栄二郎幹事長・川窪宏一事務局長に参加いただき、総勢23人が出席した。

東日本大震災の犠牲者に黙祷を捧げ、学歌を斉唱。桐原会長(53学法)が、「最近調査の入学



志願者は、関東では明治、関西では関大がトップで、母校の人気度を心強く思う」と挨拶の後、事務局・時任から事業・会計報告が行われた。

懇親会は、寺内校友会長挨拶の後、東郷事務局長の発声で乾杯し、開宴。時を経て池内専務理事と黒田副学長に挨拶いただいた。少子化の中で躍進する母校の現状報告に、一同耳を傾けて熱心に拝聴した。また、黒田副学長は、湧水町が両親の出身地で懐かしく鹿児島にきたとのことであった。関学の黒坂幹事が、阪神淡路大震災の募金活動が交流のきっかけになったこと、立命館の前迫幹事は、2015年に茨木キャンパスを開設するが、お互い切磋琢磨して躍進しましょうと挨拶された。会員スピーチでは、田中淳子さん（57文）が充実した4年間だったと懐述された。

同志社の小正芳史会長からはお祝いとして焼酎が届けられ、これはジャンケン大会の結果、松比良剛弁護士（平18専法科）が獲得した。なお、今回東日本大震災の募金も行われ、全額を校友会に寄託した。

当日は、九州一といわれるサマナイト花火大会日で、一同これを振り切ったの参加で、楽しく歓談の後、逍遙歌を高らかに歌い、青木副会長（17経）の万歳三唱でお開きとなった。

なお、翌日、寺内会長、東郷事務局長は、時任の案内で、苗村七郎先輩（17大経）が名誉館長を務める南さつま市の万世特攻平和記念館を訪問し、慰霊碑に花束を捧げられた。

（50商 時任博幸）  
（時任博幸＝099 264 7806）

### 大震災被災学生に義援金 女性含め3人の初参加者

長崎支部（濱脇哲夫支部長）では、8月26日に長崎市「銀鍋」で年度総会を開催した。校友会から田中副会長、奥田事務局課長、福岡千里会から花田名誉会長、白木会長、山口千里会から藤井会長に出席いただき、支部からは22人が出席した。

濱脇支部長の挨拶の後、田中副会長から、関西大学及び校友会の現況についてお話があり、東日本大震災で被災した学生もあり、校友会としても支援活動をしているとのことだった。福岡千里会花田名誉会長の呼びかけで、その場で義援金を募り、田中副会長に託した。



懇親会では、1年振りに集う仲間とともに杯を交わし合った。今回、3人の方の初参加があり、その中には、田中副会長、奥田課長の応援団の後輩で、地元新聞社の記者をしている女性校友もあり、華やいだ雰囲気の中で無事お開きとなった。

（会計 石本仁太郎）  
（松尾一成＝095 844 8405）

「進化するマンネリズム」  
標榜し若手参加の運営を  
佐賀千里会（山口正文会長）



では、例年日曜日の昼に開催していた総会を、今年は8月27日の土曜日18時から開催した。大学・校友会の黒田副学長、田中副会長らをはじめ、花田福岡千里会名誉会長ほか山口、北九州、長崎、熊本の近隣各支部から7人の来賓をお迎えした。

会員も初参加、久々の参加者など26人が出席。うち7人は平成卒の校友で、若い会員の参加が増え、意義ある総会となった。会場の檜庵治（るあじ）は、菅村副会長経営の店で、特別のご配慮に加え、アトラクションの景品提供までいただき、全員が楽しむことができた。

今後、会員同士のネットワークを充実させ、さらに初参加の会員が増えていくよう、魅力ある会の運営を目指し、あまりかしこまらないという伝統を維持

YKK AP株式会社 ビル建材第一事業部 大阪支店  
大阪府大阪市中央区谷町4-8-7 TEL.06-6947-4141 [www.ykkap.co.jp](http://www.ykkap.co.jp)

「くらしと水」の接点を支えています

暮らしになくてはならない水——  
タブチは、安全で快適な給水用具の創造で  
人々の暮らしを支えています

給水用具の設計・開発・製造  
株式会社 タブチ

〒547-0023 大阪市平野区瓜破南2丁目1番56号  
TEL.06-6708-0150(代) FAX.06-6708-0210 <http://www.tabuchi.co.jp/>



しながら、若い会員の要望を入れ、「進化するマンネリズム」を標榜していきたい。

なお、佐賀千里会では11月19日（土）に開催予定の佐賀青春寮歌祭に参加予定で、会員はじめ、近隣支部の方にも一緒に参加いただきたいと思っている。

（松永久光）

（松永久光＝0952 53 2190）

## 現役落大生2人が熱演 学生関大連へは支援金

徳島支部（山田仁支部長）23年度総会を、7月30日、総本家橋本「そば蔵」（昭57学商・橋本慎治）で開催した。校友会本部の古川好男副会長はじめ愛媛、高知、香川、東予千里会の支部長等のご臨席を仰ぎ、また昨年より交友の始まった淡路支部（淡路島）から野添忠支部長を「来賓としてお迎えし、支部校友50人が参加した。

今年のアトラクションは、関西大学文化会落語大学の花の家こなつさん（3回生）花の家あずきさん（1回生）に熱演いただき、客席では感心しきり大変好評を博した。

その後、総会に先立ち22年度瑞宝双光章を受章された宮崎昌泰氏（昭32学法）に現政権への苦言をはさみながら政治経済歴史の蘊蓄話を語っていただいた。



総会では、寺澤副支部長（昭47学文）が開会を宣し、山田支部長（昭50学経）の挨拶の後、古川副会長から母校の近況等の話を伺った。引き続き支部長を議長に議事を進め、前年度事業報告及び決算報告を行い、役員改選は全員再選で承認を得た。毎年阿波踊りに参加している「学生関大連」への支援金を支部長より鈴江祐果連長（3回生）へ手渡し、また、ゴルフ大会参加の呼びかけ等を行い、白川副支部長（昭52学工管）が会議を締め括った。

その後、記念撮影、谷口副支部長（昭54学法）の司会で懇親会へと移り、校友会奥田課長の乾杯で開宴、和やかに語り合



い、最後に全員で逍遙歌を合唱、南洲幸雄元支部長（昭37学工電）の音頭で一本締めにて開宴、尺八お箏の生演奏で出席者の方をお送りした。若い参加者も見えるようになり、今後も徳島支部は現役学生との絆を大切に活動が続けて行こうと考えている。

（貝出宏文）

（貝出宏文＝0883 24 0396）

## 恒例の七夕総会開く DVDで大学を紹介

校友会本部から寺内会長らを迎え、恒例となった七夕の日の7月7日に鳥取支部（荒田英毅支部長）の総会・懇親会を「郷土料理やぶきん」で開催した。昨年同様の30人が参加し、夢多き青春時代を過ごした千里丘の

思い出に話が弾んだ。

今年は、事務局からDVDをお借りし最近の大学の状況を紹介した。某大学に入学する子どもに、親父に負けたのは、親父が関西大学の卒業だと言われ、晴れがましい気分があると自己紹介され、昔日の感を覚えるとともに、関西大学の隆盛に関係

## 黒田副学長の講演に聞き入る 久しぶりの昼間の総会に90人

岡山支部（行本章允支部長）の第55回総会が、7月3日にアイクホテル岡山で開催された。

来賓の古川好男副会長、川北文雄香川支部長、佐久間真広島支部副支部長、守屋博司立命館大学校友会岡山支部長と県内外の校友ら約90人が参加。今回は久しぶりに昼間の開催となったが、多くの校友が参集してお互いの旧交を温めあつた。

総会では、学歌斉唱のあと物故校友および東日本大震災の犠牲者に對し黙禱。引き続き前年度の事業報告・会計報告、本年度の事業計画・予算案などを承認したあと、長年岡山支部の発展に尽力し、今回傘寿を迎えた尾崎貞次監査に記念品を贈呈。関西大学の黒田勇副学長が「スポーツとテレビ」そして大相撲のこれから」と題して講演。八百長疑惑などのタイムリーな話

者の皆様のご努力に敬意を表す次第である。

最後に学歌を斉唱し、来年の七夕の再会を約し、鳥取のネオン街に向け散会した。

（幹事 上山、植木）

（上山忠久＝0857 24 9228）



題を軽妙にまた裏話を交えて話し、参加者は熱心にまた興味深く聞き入った。

懇親会では、総会の前に行われたゴルフ大会、ボウリング大





会の優勝者の弁、初参加9人の自己PRなどでにぎやかに、楽しいひと時を過ごした。最後に全員が肩を組み道遠歌を高らかに歌い、名残を惜しみながら散会した。  
(村木弘文)  
(行本章允) 086 428 4501

**運営協力金など審議  
来年も富山市で開催**

富山県支部(山本勝徳支部長)の23年度総会・懇親会は、7月30日に富山市の富山電気ビルで開かれ、女性1人を含む20人が参加した。

高橋幹事長が、前年度の活動・収支報告をした後、本年度は、運営協力金の徴収、「ひと声運動」の展開、現役学生の活動支援、次期総会も富山市で開催の活動方針を示し、了承され

**設立30周年の総会開催  
被災学生支援で募金募る**

北勢支部(中村民夫支部長)設立30周年に当たる第9回総会を7月2日に四日市シティホテルで開催した。

本部から田中副会長はじめ愛知・中勢・名張・南勢支部の役員の皆さまを来賓に迎え、会員44人が参集した。

(幹事長 高橋正)  
(高橋正) 076 475 5726

運営協力金は支部の財源安定化のため、今回は総会会費に含めたが、校友からは「年1000円の会費として3年ごと計3000円を集めたらどうか」「総会案内時に欠席者から任意で1000円程度徴収したい」「い」などの意見が出された。今後、集め方や対象、金額を詰める。

来賓の渡邊校友会組織部長が校友会活動のノウハウ、高校生からみた関大の評価や体育会各部の活躍などを紹介した。

懇親会では、畑校友会事務局長代行が乾杯の発声。初参加組の「ひと言スピーチ」もあり、参加者は学生時代の思い出や仕事の話などで盛り上がった。奥井校友が「中締め」、全員で道遠歌を歌い閉会した。

総会は、中村支部長の挨拶に始まり、田中副会長から「挨拶をいただくとともに、大学の近況等を興味深く拝聴した。」

懇親会は、顧問の伊藤明前支部長の乾杯で始まり、初参加の校友7人の挨拶、オール関大グッズが当たるビンゴゲームなど和やかな雰囲気の中、おなじみ後藤隆彦幹事の名調子の口上による道遠歌を参加者全員で大合唱し、寺田浩穂副支部長の挨拶で幕を閉じた。

なお、先の東日本大震災において被災された在校生支援のため、総会参加者から寄せられた義援金を田中副会長にお渡しした。  
(幹事長 内山勝博)  
(中村民夫) 0594 46 3019



**3事業実施、2事業計画  
支部活動すこぶる充実**

宝塚支部(兼丸秀樹支部長)ハイキングの会では、4月9日、旧国鉄福知山廃線跡と武田尾溪谷を歩いた。途中6つのトンネルを通り約7キロの行程を、レールの跡、枕木の上を歩き、老若男女で楽しんだ。

6月18日、宝塚の歴史を訪ねる会は、市内を一步出て、同じ摂津の国でもあり、宝塚とも関係の深い川西市を訪問。今回は伊丹段丘の北東端にある加茂遺跡をたどった。当日は不安定な空模様だったが、市外散策という新鮮さのうちに、旧石器・縄文時代までにタイムスリップするという、得難いひとときを過ごした。また、いつもながらの直宮講師のよどみない語り口に












■正規取扱メーカー／アルファロメオ・フィアット、シトロエン、ロータスカーズ、MG Rover、シボレー・スタークラフト、キャデラック、HAMMER、ケーターハム・スーパー7、モータール  
<その他取り扱い車種>メルセデスベンツ、BMW、ボルシェ、フェラーリ、フォルクスワーゲン、アウディ、ジャガー、ボルボ、ロールスロイス、ベントレー、ランチャ、マセラティ、プジョー、Mini、その他クラシックカー・欧州車全般








**ジロン自動車株式会社**

昭和37年 商学部卒 会長 吉田尚司

<http://www.jiron-auto.co.jp>



〒556-0001大阪府大阪市浪速区下寺3-8-5 TEL.06-6644-0010 FAX.06-6644-0011  
●営業時間:(平日)9:00~19:00<日祝>10:00~19:00 年中無休 ※年末年始は除く

ホームページ最新ニュース<What's New>毎日更新!

ジロン自動車

で

検索



参加者一同聴き入った。

7月8日はジャズとワインの夕べを開催。阪急逆瀬川駅前の「びすところYOSHIDA」のマスター吉田さん（昭47商）のご厚意により、支部会員のためのジャズセッションで、4人のミュージシャンの生演奏の醍醐味を楽しみながら、美味しいお酒、料理、そしてジャズに酔いしれた。

なお、今年度後期には次の2事業を予定している。是非ご参加下さい。

ハイキングの会 10月23日

（日）9時45分 阪急電車雲雀丘花屋敷駅 梅田寄り出口バス停前集合「満願寺、多田神社等を訪れる歴史と自然があふれる人気のコース」

葦水寄席 平成24年1月21日

（土）で調整中。昨年大好評の関西大学落語大学OBによる落語。市民の方へも参加を呼びかけます。

開催場所等詳しくは機関紙「関大」1月号への折り込みチラシにてお知らせします。

参加申込みは事務局・塚本寿一（税理士事務所）0797 851491まで。

（平15文 児玉美知子）

## 「笑いプロジェクト」の2人が司会で盛り上げ

7月15日、伊丹シティホテル

で伊丹支部（加藤拓支部長）23年度総会が47人の出席のもと開催された。

一部総会では「笑いプロジェクト」から関大出身の堀登志子（昭55社）、高野隆宏（平2法）両氏を迎え巧妙な進行で始まった。まず、伊丹市元助役の山内恒男氏をはじめとする物故校友、そして東日本大震災犠牲者への黙祷を行った。

加藤支部長の挨拶の後、議事に入り、上程された5議案について慎重審議の結果、全てが承認された。

次に第2部の懇親会に移り、司会は総会に引き続き「笑いプロジェクト」の両氏の担当で、さらに軽妙さが発揮され、その進行は好評を博した。開宴にあたり田中義昭監事（校友会副会



長）指揮による学歌斉唱の後、古川校友会副会長をはじめ多数ご臨席いただいた来賓の方々を紹介、代表して古川副会長から

大学の近況を含めた祝辞を頂戴した。武田文蔵支部顧問の発声で乾杯し、懇親会に入った。アトラクションの合間に、ご臨席各支部の近況報告を挟みながら盃、グラスを傾け和気藹々の中、予定時間もあつという間に過ぎ、奥田恵造校友会事務局課長の指揮により逍遙歌を斉唱、母校関大、伊丹支部の更なる発展と参加者全員の健勝を祈念した。

福武信子副支部長の閉会の挨拶をもって、またの再会（毎年7月第3金曜日）を期し総会を終えた。（広報部長 古屋敷達夫）（ヒラク・加藤拓）072 785 5507

## 9月に姫路城と明石へ世代間の継承が課題に

関大檀原倶楽部（堤建雄会長）の第32回総会が、8月6日に檀原観光ホテルに来賓、会員ら20余人が出席して開催された。吉川まさしげ衆議院議員、

前川きよしげ参議院議員らの出席で例年になく盛り上がりを見せ、第1部では新年度の役員改選ほか事業計画などが承認された。

月例会に加え、年末年始の忘



## 支部が市民活動団体に地域に根差した活動で

八尾支部（中尾達夫支部長）は、かねてより八尾市市民活動支援ネットワークセンターへの登録申請を検討していたが、6月29日に関西大学校友会八尾支部が「市民活動を行う団体」として、認知され登録された。

市民活動支援ネットワークセンター登録規約に、「登録出来る団体は市民活動を行う団体で、八尾市人権文化ふれあい部自治振興課長が認める団体」とあり、八尾支部が単なる同窓の集まりとみなされ、市民活動団体と認めてくれるのかと不安があったが、会則、役員名簿、活動内容がわかる資料を添付して申請した。八尾支部の活動目標





は地域に根差した活動を掲げており、「河内音頭まつり」の参加、「八尾市内史跡めぐり」の企画立案、実施が認められたといえよう。

今回、八尾支部が社会的に認められた市民団体となったのである。登録された団体は印刷機、紙折り機、作業スペース等を低料金で利用が出来、作業室なども借りることが出来るようになった。

今後は、色々と支部活動の可能性を求めて活動したい。

(支部長 中尾達夫)

(中尾達夫 072 998 3526)

## 踊り方教室を開催

### 「河内音頭まつり」で

八尾支部は、「八尾河内音頭まつり」大パレード(8月28日開催)に向け8月20日早朝から踊り方教室を実施した。

講師には、河内音頭の理論と実践に造詣が深い八尾コミュニティ放送(FMチャオ)社長である松井幸一校友(昭41経)にお願いし、場所は、八尾市役所開大会の協力を得て、八尾小学校の多目的教室をお借りすることが出来た。当日の参加者は13人。

ベテラン組も3年ぶりの参加組も繰り返しの基本的練習に汗を流す。踊り手が楽しくなければ、



ば、見てくれる沿道の市民もテレビを見ている人も楽しくないとの指摘を受け、これには参加者も納得。参加者は、例えば本番で緊張して足の運びを間違っても、明るく、爽やかに、楽しく笑顔で臨みたいと決意を新たにしました。約1時間30分の練習後、ローカルメディアから、写真とインタビュー取材を受ける。記者の方に言わせると八尾支部は、毎年参加し好評を得ているので注目をしているとのこと。本番でも頑張ろう!

(支部長 中尾達夫)

## 94人が参加して総会 市役所純正会も合流

守口支部(平井治支部長)の23年度総会は7月12日、守口口



イヤルパインズホテルで開催された。出席者は総勢94人で、うち30人は平成卒の若き校友たちであった。わが支部は地元守口市役所純正会と常に連携を図っており、この日も純正会とは別室で総会を開いたあと、全員がそのまま支部総会・懇親会に合流し、盛大な総会となった。

第一部は、学歌斉唱に続き東日本大震災の犠牲者及びこの一年間の支部校友の物故者に対して黙祷。続いて、平井支部長、澤井良一守口市議会議員が挨拶し、来賓紹介のあと、議事に入った。事業及び財務に関する報告と計画案をいずれも何らの異議なく、全員の拍手を持って承認された。

来賓を代表して古川校友会副会長から大学及び校友会の現状報告を兼ねた祝辞を頂戴して

総会を終えた。

第二部の懇親会に入る前に支部を代表して平井支部長から東日本大震災に対する義援金10万円を古川副会長に寄託。続いて恒例の初参加校友にステージが上がってもらい、それぞれ自己紹介を受けた。今回は、先の統一地方選挙で守口市議会議員に初当選した服部浩之氏(平20情)のほか、岸田良太氏(平22文)、田村博昭氏(平23環)、原田拓哉氏(平23商)の4校友が初参加であった。

続いて櫻井孝雄四條畷支部長の発声で乾杯をし、宴に入った。アトラクションは、昨年好評だったグリーン・ノーツに再び出演を願い、懐かしのポピュラーミュージックをたっぷり演奏していただいた。最後に、伊勢重治幹事のリードで道達歌を高らかに歌い、万歳三唱して盛り上がる熱気の中、幕を閉じた。

(昭41法 山本護)  
(篠原勝 06 6998 5115)

## 加西市へバスツアー

### 羅漢寺では子どもが案内

守口支部の第23回バスツアーは、梅雨真っ只中の6月11日、31人が参加して歴史と花のまち兵庫県加西市へ出かけた。

4月の統一地方選挙で見事当選された澤井良一・服部浩之両



市議会議員も参加。守口市を8時に出発し、中国自動車道を通り10時に加西市に到着。地元ボランティアガイドさんの出迎えを受けたときには、前夜からの雨もすっかり上がり、地元ガイドの案内で旧家の残る北条の宿の町並みを散策。酒見寺で記念撮影したあと、隣接する住吉神社を経て北条の五百羅漢で有名な羅漢寺へ向かった。

ここでは、ボランティアガイドのかわいい小学生8人の出迎えを受けた。2班に分かれ子供たちの案内で庭内を回り、寺の由緒や諸堂などの説明を受けたが、この時ばかりは皆がいつも以上に熱心に子供たちの説明に耳を傾けていた。

正午過ぎに兵庫県立加西フラワースタターに到着。レストハ



ウスで昼食をとったあと、広い園内にある池辺のばら園などを思い思いに散策した。

続いて西国第26番札所である法華山一乗寺へ。急な長い石段を上って金堂まで上っていくと、国宝の三重塔が真下に見え、小鳥の声を聞きながら、しばし都会の喧騒を離れゆったりとした時間を過ごした。

同じ加西市内にある「根日女の湯」で一汗流し、午後6時頃、出発地に無事帰着した。

(山本護)

## 来賓含め90余人が出席 河内音頭で盛り上がり

東大阪支部（岩崎英夫支部長）23年度総会が、6月25日にホテルアウィーナ大阪で開かれた。

来賓として、一軸浩幸前会長をはじめ、近隣支部から役員の方々、東大阪市役所千陵会の会長らを迎え、出席者は90余人を数えた。

物故校友及び東日本大震災の犠牲者を偲び一分間の黙祷を捧げ、祝前俊宏副支部長の開会挨拶、現役応援団の指揮で学歌斉唱、支部長の挨拶と続き、岩崎支部長は5月24日に天野山カントリークラブで開催された第27回支部対抗親睦ゴルフ大会での団体優勝を報告、と同時に東大阪市在住の校友に校友会行事に

もつと積極的に参加をしてほしいと呼びかけた。次に、来賓を代表して一軸前会長から大学の近況を交えた祝辞を賜った。

議事では、22年度事業報告、決算報告や23年度の事業計画及び予算の承認が行われ、閉会の辞で阪本達哉幹事長が締めくくった。

懇親会は、岡野有幸柏原支部長の乾杯で幕を開けた。かけつけた西野あきら衆議院議員、北川イツセイ参議院議員からも熱烈な母校への思いを込めた挨拶があった。アトラクションでは、数少ない河内音頭とりとして活躍中の歌手生駒尚子さんが出演、河内音頭等で思い切り盛り上がり、楽しく和やかな交歓のひと時を過ごした。

最後に、現役応援団のリードで、遥か千里山を仰ぎつつ逍遙歌を声高らかに吟じ散会した。



た。（幹事長 阪本達哉）  
（岩崎事務所）072 966 0111

## 参加者増を期待し 案内状に一工夫も

寝屋川支部（清水英俊支部長）年次総会は、5月21日に市内のシティホテルニューコマンダーで開かれ、本部の田中義昭副会長はじめ北河内地区近隣の各支部、寝屋川市役所千里会それぞれ幹部の出席をいただき、校友37人と家族5人が参加した。出席者の増加を期待して、総会案内状は来賓への分も含め「内容はお楽しみ」と含みを持った文章で出したが、残念ながら期待には応えてもらえなかった。

第1部は総会では、まず東日本大震災で亡くなられた方に黙祷を捧げ、学歌を斉唱し、清水支部長の開会挨拶の後、来賓を代表して田中副会長から挨拶と大学・校友会の近況をお話いただいた。議案の22年度活動報告・決算報告・監査報告は全て承認され、その後、出席者全員で記念撮影を行った。

第2部懇親会では、藤井元大阪府会副議長の発声で乾杯し、宴が始まった。  
アトラクションは、ベリーグラス（オリエンタルダンスとも言われる）を、楽しんでいただ



いた。会場は急に暗転。女性の手の平に載せられた明りは七変化、少しずつ明るくなると女性3人が妖艶な雰囲気を出しながら会場内をゆっくりと踊り

## 新支部長に上村学氏を選任 林家染太さんが英語落語を披露

豊中支部（神保雅明支部長）の23年度総会が、7月2日に阪急豊中駅前ホテル・アイボリーで開催された。当日は校友会から古川副会長をはじめ、近隣支部の支部長、役員が出席された。

第1部の総会では、役員改選が審議され、神保支部長と川手副支部長が退任し、新支部長に上村学氏（昭44学法）が選任された。他の役員は全員留任となった。

歩いた。資料を調べたら一部の国・地方ではこの踊りを禁止しているところもある。舞台上上がった彼女らは、時には1人、時には3人で踊り、出席者に時の過ぎゆくのを忘れさせる様な雰囲気を出した。

一昨年は「新疆ウイグル地区の踊り」昨年は「モンゴル地方の歌と踊り」そして今年と、出席者の中には早くも「来年の予定は」と聞かれる方もおられた。しばしの楽しみした後、吉岡リーダーの下、逍遙歌を歌い、友田顧問の発声で万歳三唱してお開きとなった。

（幹事長 木下元重）  
（木下元重）072 833 5200

## 林家染太さんが英語落語を披露

第2部のアトラクションは、吉本興業所属で、林家染太こと荻山志行氏（平12学文）による落語を演じてもらった。なかでも英語落語は好評で、「うどん」を食べる演技には神保支部長も挑戦する一幕もあり、南京玉すだれも演じてもらった。

第3部の懇親会では、上村新支部長が就任の挨拶を行った後、古川校友会副会長から大学の現況と校友会活動の報告があった。元科学技術庁長官・支部



顧問の近江巳記夫氏の発声により乾杯、懇親に入った。多忙の中を出席された中野寛成国務大臣からは東京永田町の報告があり、初参加の会員からの自己紹介や現状報告等、会場は大いに盛り上がった。

毎年好評の福引では、色とりどりの美しい鉢植えの花が抽選で全員に配られた。恒例の締めは、全員肩を組んで第78代応援団長の清水氏のリードで道達歌を大合唱し総会を終えた。

なお来年の支部総会の日程は、24年7月7日(土)の開催が決まっている。

(幹事長 横畠正秀)  
(横畠正秀) 06 6331 275

## 来賓に森山摂津市長

### 日本民謡梅松会が出演

7月8日、23年度の摂津支部

(板野剛士支部長) 総会・懇親会を開催した。場所は、昨年に引き続き阪急摂津市駅前の摂津市立コミュニティプラザである。田中義昭校友会副会長はじめ、清水利男高槻島本支部長、奥谷英夫吹田支部長、北川均茨木支部長、当支部副支部長でもある森山一正摂津市長を来賓にお迎えした。森山市長からは摂津市の近況、田中副会長からは関大の近況をそれぞれご紹介いただいた。田中副会長は具体的な数値なども随所にちりばめつつ細かな点までお話し下さり、母校関大が様々な取組みに尽力していることが強く実感できたと思う。

議事は各位の協力もあって滞りなく終了し、第2部の懇親会へ。酒食とともに日本民謡梅松会(菅原梅松会主)の皆さんによる舞台をいただき、森山市長

の音頭による道達歌をもって大盛況のうちに閉会となった。

(副幹事長 三宅秀明)  
(エイブル・阿部賞久) 06 6387 1691

## 「世界の経済発展と貧困」 加勢田・経教授が講演

23年度河内長野支部(榎本正人支部長)総会を、7月3日に本部石井副会長、一軸顧問、近隣支部支部長各位の来賓を含め70余人の参加で開催した。

1部では、支部活動に関する経過報告と今年度の活動方針についての出席校友による審議・承認をいただいた。支部独自の活動としてのグラウンドゴルフ、ハイキング、みかん狩り、ゴルフと4つの同好会からの活動報



告がされ、各同好会とも参加者の拡大を望むとともに、新たな分野の同好会活動の拡大を目指している。

2部では、加勢田経済学部教授に、「世界の経済発展と貧困」をテーマに講演いただき、経済の発展の裏に内在する貧困の仕組みを興味深く理解することができた。

3部は懇親会で、校友同士の懇親を深める事ができた。とりわけ創業293年の「天の酒」は河内長野市の地酒であり、蔵元の校友に、とっておきの冷酒を準備していただいた。校友同士の旧交を温める会話の中での「天の酒」はまさに美酒であった。

締めくくりは本部事務局の奥田課長の演奏による道達歌で来年の総会での再会を誓いあった。

(副支部長 後藤幹雄)  
(榎本正人) 0721 63 5120

## ハワイアンショー堪能 被災学生へ義援金拠出

大阪狭山支部(吉川壽一支部長)の第22回総会は6月18日、SAYAKAホールに本部から渡邊組織部長はじめ、近隣5支部から代表を来賓として迎え、会員夫人10人(会員夫人の出席もその支部のパワーとお言葉を渡邊部長から頂戴する)



を含む49人が集い開催された。

第1部総会は、島尾幹事の司会で開会、全員で学歌斉唱、昨年逝去された支部の徳永会員及び東日本大震災の犠牲者への黙祷、支部長挨拶の後、渡邊部長から母校と校友会の現況について有意義なお話を拝聴した。

続いて、議長に上辻副支部長を選出し、予定されていた議案も順調に審議、承認された。

その後、会場を4フレストラン「SAYAKA」に移し、全員で集合写真を撮った。

第2部懇親会は、森幹事の司会で開宴、成岡事務局次長の発声で乾杯、支部長から渡邊部長にささやかながら支部からの義援金をお渡しした。

暫し歓談後、津田幹事夫人紹介によるアトラクションのハワ



平成22年度 1級建築士 設計製図試験



当学院教室開講都道府県  
合格者占有率

50.0%

当学院教室開講都道府県  
学科・製図ストレート  
合格者占有率

54.5%

※都道府県合格者数は、(財)建築技術教育普及センター発表の受験番号より算出。※上記、当学院開講都道府県合格者占有率には、1級設計製図講座を開講していない青森県、岩手県、秋田県、長野県、鳥取県、島根県、愛媛県、高知県、佐賀県、長崎県、大分県、宮崎県、沖縄県の合格者は含んでおりません。※上記エリアから隣県の当学院開講教室にて受験し合格された方は、合格実績に含んでおりません。※学科・製図ストレート合格者は、平成22年度1級建築士学科試験に合格し、平成22年度1級建築士設計製図試験にストレートで合格した方です。※総合資格学院の合格実績には、模擬試験のみの受験生、教材購入者、無料の役務提供者、過去受験生は一切含まれておりません。

## 関西大学

平成22年度 1級建築士合格者

卒業合格者62名中、34名が  
当学院の講座を利用して合格されました!

## 平成22年度 2級建築士 試験

学科試験

当学院受講生 基準達成者合格率  
8割出席・8割宿題提出・模擬試験60点以上  
受講生533名中、合格者514名

96.4%

設計製図試験

当学院合格者数  
2,273名

2級製図講座 当学院受講生  
基準達成者合格率  
9割出席・9割宿題提出受講生  
1,690名中、合格者1,260名

75.7%

## 平成22年度 宅地建物取引主任者 試験

当学院受講生 基準達成者合格率  
当学院 合格バックアップシステムの基準である8割  
出席・8割宿題提出・公開統一模試得点率8割以上の  
受講生117名中、合格者93名

79.5%

## 平成22年度 1級建築施工管理技術検定

学科試験

当学院受講生 基準達成者合格率  
9割出席・9割宿題提出受講生144名中、合格者130名

90.3%

実地試験

当学院受講生 基準達成者合格率  
9割出席・9割宿題提出受講生509名中、合格者446名

87.6%

※総合資格学院の合格実績には、模擬試験のみの受験生、教材購入者、無料の役務提供者、過去受験生は一切含まれておりません。

“わかるまで”“独力で解けるまで・  
描けるまで”指導します。

1級・2級建築士

1級・2級建築施工管理技術士

宅地建物取引主任者

インテリアコーディネーター

ファイナンシャル・プランナー

構造計算コース

株式会社 総合資格  
(社)日本建築学会  
(社)全国産業人能力開発団体連合会  
株式会社 総合資格学院法政講習センター  
国土交通大臣登録講習機関

監理技術者講習実施機関 登録番号7  
宅建登録講習機関 登録番号(3)第009号  
宅建登録実務講習実施機関 登録番号(2)第5号  
一級建築士定期講習 登録番号 第6号  
二級建築士定期講習 登録番号 第4号  
管理建築士講習 登録番号 第2号

今すぐウェブ検索!

ケータイサイトも充実!

総合資格

検索

http://gakuin.jp/

www.shikaku.co.jp

※QRコードは  
バーコードリーダー  
対応機種に限りません。



## 総合資格学院

すべては「合格」のために

梅田校 TEL.06-6374-1411 神戸校 TEL.078-241-1711  
新大阪校 TEL.06-6101-1911 姫路校 TEL.079-224-1411  
京橋校 TEL.06-6882-8211 京都校 TEL.075-352-3011  
なんば校 TEL.06-6648-5511 津津校 TEL.077-566-6911  
堺校 TEL.072-222-9311 奈良校 TEL.0742-30-1511  
高槻校 TEL.072-686-6711

学院長 岸 隆司 (法48卒)

## 会員の家族が発参加 若手会設立に取り組み

富田林支部 (杉多弘至支部)

(幹事長 花崎光輝)  
(花崎光輝) 072 366  
6120)

アルコールがすすんだところ  
で、恒例の抽選会に入り、今年  
は何が当たるかなと、番号が発  
表される度に、会場は大いに盛  
り上がった。最後は全員が肩を  
組み道達歌を歌い、円陣の中、  
会員の絆を感じ、来年の再会を  
約しお開きとなった。

長)では、7月9日、市民会館  
で23年度総会を開催した。本  
部から田中義昭副会長及び近隣友  
好支部で計17人の来賓のご出席  
をいただくとともに、会員及び  
会員の家族51人が参加、盛大な  
総会となった。なお、今回から



熱心に聞き入っていた。  
懇親会では、田中副会長の挨拶  
及び近隣友好支部からの活動  
状況や課題についての報告があ  
った。

への動きを目指すこととした。  
続く記念講演では、本支部校  
友の社会保険労務士・森倫也氏  
(昭40法)から『年金時効特例  
法』と『遅延特例加算金法』の  
活用術』と題して、受給が難し  
い年金でも、あきらめないで申  
請すれば、年金がもらえる場合  
があることを、業務の体験に基  
づいての説明があり、参加者は

会員の家族も参加いただくこと  
となった。  
総会は、校友及び東日本大震  
災の犠牲者への黙祷で始まり、  
杉多支部長が「老・壮・青の参  
加で、母校への愛着を。しかし  
ながら、若い人の参加に難しい  
ものがある」と挨拶。それを受  
け今年度から、平成若手会設立

## 太子聖燈会に献灯

富田林支部では、8月28日に

(野島努) 072 23 319  
(幹事長 秦 純一)

優勝は桂川恵次氏(43法)とな  
っていました。正しくは桂山  
恵次氏(43法)でした。お詫び  
し、見出しとともに訂正します。

また、前回ゴルフの記事で、  
優勝は桂川恵次氏(43法)とな  
っていました。正しくは桂山  
恵次氏(43法)でした。お詫び  
し、見出しとともに訂正します。

な総会となった。  
なお、去年から始まったクラ  
ブ活動は、秋の部として、歴史  
散歩の会は11月6日(日)に決ま  
ったので合わせて報告します。

太子町で行われた太子聖燈会  
(しょうとつえ)は、観福寺・西  
方院・和みの広場」に協力の意  
味合いを持って献灯した。  
太子聖燈会は、太子町が魅力  
ある街づくりのために始め、今  
年が4回目である。当初は2千  
個の献灯であったが、回を重ね  
るにつれ増え、今年は1万個の  
献灯があった。



聖徳太子に因み御陵の前の境内には、「和」の文字、「鳳凰」の図柄を明りて浮かび上がらせ、和みの広場では「がんばろう日本」の文字が浮かび上がった。各種団体の出店もあり、多くの人出で賑わっていた。

(幹事長 秦 純一)

## 130余人集い盛大に 新支部長に別處氏選出

茨木支部（北川均支部長）の23年度総会が、8月4日にホテル阪急エキスポパークで、上原理事長はじめ寺内校友会長など多くの来賓、現役応援団を迎え、130人を超える校友参加の下、盛大に開催された。

総会の開始前に、未曾有の東北大震災によって尊い生命を亡くされた方々と支部会員の物故者に対し、全員で哀悼の誠を捧げ、一分間の黙祷を行った。

第1部総会では、富田龍郎応援団第89代団長により学歌斉唱、来賓紹介の後、北川支部長が挨拶。続いて上原理事長、寺内会長、校友である野村宣一茨木市長から祝辞をいただいた。

総会議事では、事業報告や予算など承認され、また、役員改選では4期12年の長きにわたり支部長としてご苦労いただいた北川氏から退任の申し出があり、後任に別處一副支部長を選任、北川氏は相談役となつ



た。今後は、別處支部長の下、副支部長も増員し、役員一同、支部の益々の隆盛を誓った。議事終了後、新支部長から、長年の功績を称え、北川前支部長へ花束を贈呈した。

第2部の懇親会は、東郷洋校友会事務局長の乾杯の発声で開宴。歓談に入り、学生の頃の思い出話をしたり、近況を語りあうなど、久しぶりに会う校友と旧交を温めあった。

応援団演奏の後には恒例の福引。マスクメロンや白桃など果物から自転車、今年は節電対策としてエアコンから扇風機へと変わり、電気店にはほとんど無い羽根の無い扇風機を一等賞として選定し、抽選が始まった。参加者全員が一喜一憂し、最後の一等賞の扇風機の抽選ではなんと上原理事長に当たったと

きには、その周りで拍手や歓声が起こり、和やかに終始し、時間はあつという間に過ぎ去った。福田博行副支部長が茨木支部の更なる発展を祈念する閉会の挨拶を述べ、お開きとなった。

(幹事長 小西盛人)

(別處一〇〇七二 634  
6613)

## 倉田市長らの当選祝す 会員獲得活動など決定

池田支部（古川智支部長）は、7月28日に池田市市民文化会館で総会ならびに懇親会を盛大に行った。総会では、22年度事業としてゴルフコンペを中心に支部活動を行ったこと、23年度事業計画では新規会員獲得に向けた活動を行うことなどを決めた。



懇親会に先立ち、角谷校友が池田JCから東北へボランティア活動に行った状況報告を行い、併せて義援金のカンパをお願いした。

また、懇親会では、4月の統一地方選挙において倉田市長以下、渡辺市議会議長、木下、吉本、山本の4人の市議会議員の当選を祝し、記念品の贈呈を行

った。  
来賓には、本部の田中副会長はじめ近隣支部の支部長等18人をお招きし、総勢50人ほどの参加で盛会だった。  
(社会福祉法人大協会伏見荘施設長 角田明義 昭42経)  
(古川智〇〇七二 751 2  
662)

## 新支部長に福田平司氏を選出 ジャズボーカルやギター楽しむ

北支部（前田正支部長）の総会が、6月24日、ニューミュンヘン北大使館で、寺内校友会長らを来賓に迎え、40人の校友の参加を得て開催された。

総会では、事業報告、会計報告、会計監査が報告され、その他の議案として、年会費の徴収につき提案があり、いずれも可決承認された。また、役員改選では新支部長に福田平司（昭45商）、新副支部長に梶本雅憲（昭48一高）、新幹事長に市田利夫（昭45法）の各氏が就任した。その他の役員は全員留任となり、同時に若干の増員の承認をつけた。

前田前支部長挨拶のあと、福田新支部長は、前田前支部長の12年間の活動に、深い感謝の意をあらわされ、私たち新役員も、前支部長そして役員の方々の功



績を後退させることなく、北支部の活動を更に発展させていく旨、決意を新たにしたり。  
寺内校友会長から祝辞をいただいた後、東郷事務局長の乾杯の音頭により、懇親会が始まった。



校友であるジャズボーカルの五十嵐亜紀子さんの歌と、古池明さんのギター演奏を聞きながら、楽しいひとときを過ごし、逍遙歌合唱で、総会の幕を閉じた。  
(幹事長 市田利夫)  
(市田利夫) 06 6375 1336

### 淀川・東淀川が総会 懇親会は両支部合同で

淀川支部(塚田邦彦支部長)・東淀川支部(四宮貞男支部長)の総会及び両支部合同懇親会が、6月18日に十三のホテルプラザオーサカで開催された。寺内校友会会長はじめ、来賓の方々を含め総勢38人の出席をいただき、氣勢をあげた。まず総会が支部ごとに行われ、決議、報告共に滞りなく進行された。

その後、両支部合同の懇親会が催され、木川校友(東淀川支部)の総合司会のもと、塚田淀川支部長、寺内校友会長の挨拶から始まり、各テーブルで歓談、酒杯の交換が行われ、皆さん大いに盛り上がっている様子であった。

途中、福田校友(淀川)、岡田校友(東淀川)の軽妙な司会による空クジなしのクジ引き大会等があり、会場は興奮の渦に包まれた。

懇親会の締めでは、逍遙歌合唱と集合写真撮影を行い、再会



の時を約しつつ、各自十三の街へと繰り出して行った。今回も初参加の校友が複数おられた。今後も新しく出席してくれる校友がますます増えることを期待している。

(淀川支部副支部長 山本章)  
(淀川支部・塚田邦彦) 06 6309 2751 東淀川支部・四宮貞男 06 6329 1757

### ピンゴで盛り上がる 節電省エネ景品が好評

都島支部(乙咩淑子支部長)は、23年度総会を6月18日に大阪リバーサイドホテルで校友会本部の田中義信組織副部長をはじめ近隣6支部の来賓を迎え、総勢26人で和やかに開催した。

第1部では、田中組織副部長



から大学の近況、お祝いの言葉をいただいた。続いての議案審議では滞りなくすべて承認された。

第2部の懇親会は、仁井副支部長の司会で来賓の米谷晴生東成支部長の乾杯の発声で始まった。初参加の校友3人の自己紹介から参加者全員の一言スピーチがあり、ピンゴゲームに入った。今年は節電省エネということで、景品には卓上小型扇風機や安眠枕などを用意したが、大変好評であった。

最後は、全員輪になり林校友の口上で逍遙歌を合唱し和気藹々のうちに終了した。

(幹事長 香西安勝)  
(乙咩淑子) 06 6927 0390



### 春之輔師匠の落語満喫 親睦ハイクの報告も

住之江支部(籠池靖憲支部長)は、平成20年4月再建後、満3年が経過し、第3回定期総会を7月9日に大阪キャッスルホテルで開催した。

来賓として石井國男校友会副会長ほか、近隣の6支部のご臨席を賜った。ゲストに、落語家・桂春之輔師匠を招き、楽しい落語を満喫した。出席会員は20人で2人の初参加があった。未熟な支部だが、活発な支部をめざし、頑張っている。

会員の親睦「ガスローガンの支部である。支部行事で毎年2〜3回のハイキングを開催している。

22年4月11日、「春の飛鳥路ぶらり歩き」(参加者6人)藤ノ木古墳、法隆寺、松尾山から郡山城跡まで散策した。法隆寺の食堂で昼食の後、その食堂の



年配のおばさんから「近道がある。私の朝の散歩道だ」と教えられ、その道を行く。「うそやろ!きつい急斜面の上りや」。みんなフラフラ。すごい思い出だった。けど、楽しかった。

22年9月20日「立杭陶の郷見学 栗拾いパーベキュー」(参加者6人)清水会員の企画である。立杭陶の郷を見学して、薬師温泉を満喫。清水会員の畑で栗拾いの予定だったが、栗がない。のどかな田園で、パーベキューを楽しんだ。ちよつと普段できない話で盛り上がった。清水さん、ありがとうございました。

23年3月27日「京都ぶらり旅」(参加者7人)嵐山から小倉山へ、散策と花見を楽しむ。



景色のいい公園みたいで「何だか、楽しそう」と思いきや、小倉山に登りはじめたら、途中から急な登山道。でも、麓にありて、皆で「しんそば」食べたら、元気になって、大はしやぎだった。食事をした寿楽庵の裏の家が、瀬戸内寂聴さんの家だと知りさつそく見学に。楽しい一日だった。（塩田憲治）  
（南港さくら幼稚園）06 6 6 12 0335）

### 城東・旭・鶴見合同総会 染太師匠がゲスト出演

6月25日、城東（高木忠雄支部長）・旭（首藤俊二支部長）・鶴見（徳野豊支部長）3支部合同総会を市内錦城閣で開催した。3支部それぞれに分かれての総会も無事終了。やがて懇親会会場に全52人が集い、会に先立ち東日本大震災の犠牲者と今年3月5日に死去された大阪市内支部連合会初代会長辻佐一郎氏を悼んで黙祷。

近藤城東支部幹事長の司会で懇親会がスタート。自然の秀麗人の親和。徳野鶴見支部長の開会の挨拶では、この3支部のある旭区が昭和7年に誕生、18年に城東区が、やがて49年に鶴見区が城東区より区分した歩みの不思議な結びつきを語られた。

来賓に古川校友会副会長はじ



め近隣友好支部の東成・都島・大阪中央とあわせて8人の出席を得た。

余興のゲストに林家染太師匠の出演。本学OBで英語落語が得意な嘶家さんだ。当日は楽しいお話に加えて、軽快なBGMと共に紙とハサミを巧みに動かして見事な切り絵をご披露、拍手喝采だった。

宴もたけなわ、笑顔で写真におさまるグループ、名刺交換して挨拶する校友、久しぶりの再会に肩をたたきあつて喜ぶ旧友、ここで初めて知り合いになりピールをつぎ合つて歓談する校友、これこそが関大校友会。やがて首藤旭支部長の開会の

辞に続き、大円陣をつくり、肩を組んで、嵐つんざく鳳の。あゝこの逍遙歌こそ関大を母校とするわれら校友の青春の叫び、心のふるさとの歌、あの日の思い出の音である。笑顔で再会を誓い、喜びを心いっぱい詰めて家路についた。

（鶴見支部幹事長 迫 匡）  
（城東・近藤正昭）06 6 9 3 5 5 5 4 5 旭・首藤俊二 06 6 9 5 2 1 1 6 6 鶴見・徳野豊 06 6 9 1 2 9 3 5 7）

### 江戸時代の二大私塾を 阪大、関大で継承に感動

此花支部（平岡昭雄支部長）の第19回総会が、7月9日にホテル阪神で開催された。

本部からより渡邊泰之組織部長及び大阪市内連合の武智虎義副会長らが出席され錦上添花を添えていただいた。

現役応援団の指導で日本の3大校歌「自然の秀麗」を出席者全員で斉唱し、総会が始まった。

支部長の開会の挨拶で、校友会活動への積極参加や地域貢献活動が述べられ、また来年度の20回総会を機に、育つてきている次の時代へのバトンタッチが発表された。更に、支部ホームページ開設を準備しており、今年中にはUPしたいとの方針が述べられた。

べられた。議事に入り、事業・決算、会則一部改正などの議案が決議された。

2部の講演会は「関西大学の堂々たる歴史」と題して、文学部教授で大都市遺産センター長の藪田貫先生が登場。江戸時代に大阪には懷徳堂と泊園書院という2つの大きな私塾があった。後に懷徳堂は大阪大学が受け継ぎ、泊園書院は関西大学がその流れを受け継いでいる。そのときから数えると関西大学は186年の歴史がある。また、大学昇格時には大阪財界がバックアップした。初代理事長は大阪商工会議所の会頭であつたと述べ



られた。この講演には一同感謝を新たにしたい。

3部の懇親会では、藪田先生の講演も話題に上り、盛況であつた。近隣支部や校友団体のトップも参加していただき充実した懇親会であつた。

来年度の20回総会を成功させようとの合言葉のなかで、無事終了した。（幹事長 本田勝則）  
（本田組本店・本田勝則）06 6 4 6 1 1 9 3 3）

### 神社境内で新能を鑑賞 今後は支部恒例行事に

阿倍野支部（松田充弘支部長）では、5月19日に阿部野神社境内で行われた「浪速津南阿部野新能」の観能会を開催した。新能は屋外で開催されるため天気が心配であつたが、当日







在阪の自動車業界に従事する校友で組織している自動車関大会（森下功会長）の第46回総会が、7月13日にホテル大阪ベイ

## 北嶋教授と新入会員に記念品を贈呈 バザーの一部は東日本震災義援金に

は文句なしの快晴であった。  
午後4時に集合し、観能に先立ち当支部幹事でもある阿部野神社中塚宮司の「厚意により、茶室をお借りして懇親会を開いた。14人の参加者の他、校友会本部より寺内会長にもご参加いただき、茶室や庭のベンチなど思い思いの場所ので、用意した弁当を広げ歓談し、大いに盛り上がった。

いただいた。その後、薪能が始まり、仕舞、狂言、能と、演目が進むにつれ、景色が夕闇に変化してゆき、日が落ちた境内には篝火が燃え上がり、舞台の舞と謡と境内の雰囲気は溶け合っており、独特の世界を醸し出した。来年も伝統ある阿部野神社の薪能観能会を企画して、支部恒例行事にしていきたいと思う。興味のある支部校友の皆様は是非ご参加下さい。

（副支部長 九之池榮一）  
（松田商事）06 6622 5580

タワーで78人が出席し、来賓として古川好男校友会副会長、北嶋弘一システム理工学部教授らを迎えて開催された。

開会に先立ち3月11日に発生した東日本大震災で亡くなられた方々に対し、哀悼の意を込め出席者全員で黙祷を捧げた。

第1部は、学歌斉唱、会長挨拶のあと議事が進められ、22年度の事業報告、会計報告が満場一致で承認された。森下会長は、「自動車業界を取り巻く環境は、東日本大震災発生以降、自動車メーカーにおいては大幅に生産台数が減少し、販売店においてもお客様にお届けする車

が無いという非常に厳しい状況にある。しかしながら、7月以降は生産がほぼ通常レベルまで回復する見通しであり、今まで蓄積した力を存分に発揮し、「頑張ろう自動車関大会」、「頑張ろう日本」を合言葉に、自動車関大会の会員の皆さまの一層の奮起を期待する」と挨拶した。また第1部のサブライズとして、来賓である北嶋教授の精密工学会フェロー選任のご功績を称えて、お祝いの記念品を贈呈した。

第2部は乾杯の後、懇親会に移り、各テーブルごとの記念写真撮影。また今年入った新卒会員2人を紹介し記念品を贈呈。恒例のチャリティバザーも開催。出席者からさまざまな出品があり、売り手と買い手の競り合う声が飛び交う中、日頃は仕事上ライバルである会員同士がこの時ばかりは楽しく和やかなひとときを過ごした。売上金の一部は、毎年行っている（財）大阪交通災害遺族会への寄付と今年は東日本大震災の義援金に充てられる。

（事務局 中野吾一）  
（大阪トヨタ自動車経営企画部 経理グループ・中野吾一）06 6451 6853



## 22年度合格者20人迎え 7回目の祝賀会を開催

7月16日に司法書士関大会（中村博会長）の司法書士試験合格祝賀会兼新入会員歓迎会が、大阪キャッスルホテルで開催され、大学から上原洋允理事長、楠見晴重学長ほか関係者6人と校友会から古川好男副会長、一軸浩幸顧問らを来賓に迎えるとともに、22年度合格者20人と会員を合わせ総勢69人が参加した。

冒頭の中村会長の挨拶の中で、近畿圏の合格者が平成21年度は13人しか判明せず、会員の方々には寂しい思いをさせた。22年度は22人判明し、本日20人が参加。22人の合格者の学部別内訳は法学部が17人、商学部が3人、総合情報学部が1人、経済学部が1人であった。この合

格祝賀会は、塩田貴美代前会長が平成16年就任時、新人確保と関大における司法書士の認知度をアップすることを目的として、平成16年度合格者を対象に平成17年から始められ今年で7回目を迎えたことを報告した。

学歌斉唱、来賓紹介の後、上原理事長は、土業の資格試験の合格者が関関同立で首位になることを、そして合格者に対しては、合格後も更なる日々の研鑽が大事であり、関大出身の司法書士は一味違うところを見せていただきたいと挨拶。楠見学長からは、教学の代表として女子学生が大学全体の40%を占める現在、女性会員が多数在籍する司法書士関大会の活躍を期待する旨の祝辞をいただいた。

古川副会長から挨拶の後、合格者全員に記念品の贈呈が行われ、当会の参与で6月の日本司法書士連合会総会において副会長に再選された井上利博先輩の発声で乾杯し、歓談に入った。懇親に入り、吉田栄司法学部長、宇恵勝也商学部長、木谷晋市総合情報学部長より祝辞をいただいた。

2人の新入会員紹介の後、本日の主役である合格者が壇上に上がり、自己紹介並びに今後の抱負等を大いに述べてもらい、恒例の記念写真の撮影を行った。



なお、第51回総会は、11月18日（金）に大阪キャッスルホテルで開催します。また、平成23年度司法書士試験合格者及び司法書士関大会に入会希望者は司法書士関大会事務局までご連絡下さい。

（幹事長 辻井宏之）  
（中村博司司法書士事務所 06 6705 5678）

## 中村准教授の講演聞く 田中義久新会長が就任

5月14日、大阪キャッスルホテルで中村隆宏社会安全学部准教授の基調講演「ヒューマンエラーと災害防止の心構え」を聴講のあと、社会保険労務士関大会（大門博会長）定時総会が開催された。

学歌斉唱・大門会長挨拶に続いて審議に入り、議案については全て原案通り可決され、引き続き、大門会長退任の挨拶、関西大学法人本部長五藤幹事の大学の近況報告があり、総会は全て無事終了した。

引き続き懇親会が開かれ、田中義久新会長が開会の辞と就任挨拶を述べ、来賓として上原洋允理事長、廣瀬幹好副理事長、寺内俊太郎校友会会長ほか、友好団体からも出席いただき、東郷事務局長の乾杯発声にて開宴、お開きの時間を迎えるまで歓談。恒例の逍遙歌合唱で散会した。

（広報委員 北本浩三）  
（山中雅俊 06 4793 068）

## 12月14日に勉強会予定 発足後初の役員会開催

今年3月に発足した物流関大会（会長・福田泰久センコー社長）は8月11日、ホテルグランヴィア大阪で発足後初の役員会を開き、役員26人のうち21人が出席し、今後の活動方針について話し合った。

その結果、会員同士の親睦を深めるための交流会や勉強会を開催してはどうかとの意見が多く出されたため、12月14日（予定）に忘年会を兼ねた勉強会と親睦会を開催することになった。栗尾尚孝幹事長（大和運送社



長）が議事を進行。福田会長は挨拶で、「猛暑で景気は少し良くなっているが、円高、株安で心配なところがある。東日本大震災の発生で心配したが、7月から少し復興需要が出てきたのではと思っている。小売関係も猛暑も手伝ってか、飲料水などが非常に出だしている。しかし、一方で燃料価格は徐々に上がってきている。これからは特に燃料を注視した経営をやっていたきたいと思う」と述べた。

続いて出席役員の自己紹介が行われたあと、今後の活動方針についての意見交換に入った。役員からは親睦を深めるためのゴルフコンペ、ホームページの開設などが提案され、栗尾幹事長がこれら意見を取りまとめることになった。

役員会終了後は高野武文副会長（陽光社長）の乾杯の発声で

懇親会に移行。瀧内貞男会計監査（ランテック社長）の中締め挨拶で散会するまで和やかに歓談し、懇親を深めた。

現在の会員109人の物流関大会では、さらなる会勢拡大に向け会員を募集中で、物流関連事業に携わる関大OBに積極的な参加を呼びかけている。

（阪本正則）  
（大和運送 栗尾社長・栗尾常務 072 626 723 5）

## 卒業60周年記念祝賀会 11月14日に徐園で開催

学部二六年会（河合達朗会長）では、本年が卒業60年の佳節を迎えるに当たり、記念総会の設営について、かねてから拡

大世話人会を中心に企画の検討が重ねられていたが、8月24日に肥後橋・徐園で開催した第2回の会合で具体的構想が固まり、近く開催通知状の発送に入ることになった。

記念総会は、11月14日（月）午前11時開会、会場は肥後橋「徐園」とし、記念総会、記念講演、記念祝賀会の三本建ての構想で、推進することになった。平均年齢82歳、老躯に鞭打つての奮闘がスタート、記念行事の成功に向けて、取り組むことを誓い合った。

どうか同期の諸兄には、誘い合わせてご参加を期待します。

（河合達朗 06 6781 717）  
（東浦栄一）

## 472人に大学代表選手証を授与 100周年記念会館で授与式を挙行

体育OB会（小坂道一会長）の大学代表選手証授与式が7月14日、関西大学100周年記念会館で開催された。

富田龍郎応援団長の指揮での学歌斉唱で第一部が始まり、小坂会長の開会の挨拶、来賓を代表して上原洋允理事長、楠見晴重学長、寺内俊太郎校友会長からお祝いのお言葉をいただいた。

授与式に移り、472人に大

学代表選手証が授与され、受賞者を代表して空手道部堀川凜美さんから謝辞があった。また8月中国深圳で開催される第26回ユニバーシアード競技大会日本代表の重量挙げ白草竜太君にお祝金を贈呈して第一部を終了した。

第2部の懇親会が、池内啓三専務理事の挨拶の後、笹倉淳史学生センター所長の乾杯の発声が始まった。懇親会は大いに盛





り上がったが、時間も押し迫り  
富田団長の指揮での道遙歌、海  
蔵寺浩会長代行の閉会の辞で閉  
会となった。

(事業部長 西田幸弘)  
(近藤正昭) 06 6935 5  
545)

### 現役時代のスライドショー 久井理事長の姿に響めき

何があんでも7月7日に総会  
を開催しているスポーツマンクラ  
ブ(2部体育OB会・中井邦夫  
会長)。通称を七夕総会と言わ  
れている。

今年は、参加者の増員が見込  
まれ、会場を初めてであるホテ  
ル阪神で開催した。雨の夜にな  
ったが、予想以上の参加を得て  
結果150余人になった。

1部総会では、活動、会計、  
監査報告そして活動予定、予算



案等が、無事に承認された。

2部懇親会は、中井会長の挨拶、来賓の紹介の後、上原洋允  
法人理事長、古川好男校友会  
副会長の挨拶をいただき、この  
会の名付け親と言うべき森本靖  
一郎法人理事・相談役の乾杯で  
スタートした。いつもながら好  
物の黒ビールでの杯は言うまで  
もない。

今回の企画として、後ろを振  
り向かず、ただ前進のみしてい  
たわれら現役時代を、集められ  
た貴重な写真を基にプロジェク  
ターで投影し、明日の糧にして  
いただきたく実施した。合宿や  
練習風景に「おお若いな」の  
声。当会の初期の総会風景で  
は、あの久井理事長のお姿があ  
り、会場は大いにとよめいた。  
自画自賛であるが、「川の流れ  
の様に」のBGMは過ぎ去りし

日々を取り戻すに十分な役目を  
果たし、明日に向かって前進し  
ていただけることと思う。過去  
を振り返り明日に生かして欲し  
いと言った役員の思いは伝わった  
ようで、苦心が報われた感じで  
ある。

特別出演のチア・リーディング  
グループ「クレアーズ」が、  
精一杯若さを円舞で表して集団  
の織姫が舞い降りたかと思われ  
た。牽牛も若さを取り戻した如  
くであった。雨の振る大阪に大  
きな明かりを見つけた。

会半ば、小坂最高顧問(体育  
OB会会長)の現在の関西大学  
体育会の報告、また優しさの中  
に厳しく体育指導育成の姿勢の  
お言葉にOB感動の一瞬であつ  
た。

長柄会・高副会長による振り  
で、恒例の道遙歌。肩を組むO  
B諸兄、関西大学に育ったこと  
を大いに誇り得る夜だった。

(副会長 陸田弘行)  
(関西船用) 06 6572 1  
021)

### 現役が落語や邦楽披露 今後も文化会活動を支援

7月2日、大東洋で葦文会  
(中瀬和夫会長)の総会が開催  
された。当日は、現役文化会の  
本部役員をはじめ、邦楽部、落  
語大学の学生など45人の出席が  
あった。現役学生による落語や



邦楽の披露もあり大盛況だつ  
た。

また、宮下文彬校友会広報副  
部長はじめ、衆議院議員の西野  
あきら先輩もお忙しい中、駆け  
つけてくださり、今後の葦文会  
の活動へ激励の言葉をいただい  
た。

今回の総会では、役員改選が  
行われ、前期に引き続き、中瀬  
和夫会長が再選された。副会長  
は、渡部基義、平岡昭雄、北村  
修治の3人体制になり、幹事長  
には三坂友章が再選された。

今後も葦文会は文化会の活動  
を積極支援するよう頑張ります  
す！みなさん応援をお願いします  
す。今回の総会の模様は葦文会  
のホームページにも掲載してい  
る。

<http://www2.kandai->

koyukai.com/ai/ibunkai/  
(藤本康志)  
(三坂友章) 0797 85 8  
031)

### 合唱祭参加曲を練習 12人が奈良で夏合宿

コルテクニカOB会(武内  
博資会長)では、11月3日に伊  
丹市の伊丹ホールで開かれる第  
13回関西男声合唱祭パッカスフ  
エスタに向けての合唱曲の練習  
のため、8月27・28日に、奈良  
県青少年会館ユースホステルで  
夏合宿を行った。

今回は、12人が参加し、参加  
曲2曲を練習。夜は、懇親会の  
ビアガーデンでバーベキューを  
食べ大いに盛り上がり、11月3  
日の本番に向けて、大阪市内で  
の定期練習にも熱が入りそつた。

(奥村正治)  
(武内博資) 0742 48 5  
485)





## 経営教育の高大連携 柴教授の説明に感銘

天商関大会（山田榮一会長）  
23年度定例会は、8月17日にK  
R大阪で開催された。

木口誠一天商校長（昭50学  
商）から、天王寺・市岡・東の  
市立3商業高校統合後の新校名  
は、ビジネスフロンティア高校  
と決定し、天商校地に新築中の  
新校舎は、来年4月にオープン  
されることなど、スーパービジ  
ネスマン育成に向け情熱を傾け  
て取組んでおられる話をお聴き  
し、次いで、柴健次会計専門職  
大学院教授から経営教育の高大  
連携について、学会協議会での  
シンポジウムの基調講演を来る  
11月20日、100周年記念会  
館でなされるなど、われわれに  
関心の深いお話に一同感銘を受  
けた。



参加者20人、例によって自己  
紹介に入り、多士済々の集いに  
力強さを感じるとともに、本会  
の存在意義を実感して散会し  
た。（会長 山田榮一・昭25大経）

## 先輩後輩57人が参集し 20年ぶりに恩師を囲む

上田昭三ゼミナール千昭会が、  
20年ぶりに恩師上田先生を囲  
み、57人もの参加者を得て7月  
9日、ザ・リッツカールトンホ  
テル大阪で開催された。

上田先生も千昭会の開催を大  
変喜んでおられ、懐かしい先輩  
同輩、後輩が一堂に会して、と  
ても楽しい一時を持つことがで  
きた。ご夫婦での参加も歓迎と  
いうことで、梶田惇前会長は、  
ご夫婦で出席され、上田先生の  
温顔が、一際懐かしさにほころ



ぶ姿が感動的であった。

今後は左記のホームページで  
連絡を取りあい、来年は一人が  
一人の会員を誘い、100人に  
しようと役員一同はり切ってい  
る。来年度も予定では7月14日  
（土）同じくザ・リッツカールト  
ンホテル大阪で開催できるよう  
準備を進めている。

<http://sensoukai.web.fc2.com/>  
（森本弘明）

## 「法務・検察あれこれ」 中尾前高検検事長が講演

睦法会（赤松建美会長）総会  
は、6月4日にヴィアール大阪  
で、会員41人、千里山法律学会  
（千法会）会員3人が出席して  
開催された。

第1部総会は、赤松会長の挨拶、  
葛原力三法会会長の挨拶の  
後、議案の審議が行われ、22  
年度事業報告・会計報告・監  
査報告があり、報告案件はすべ  
て了承された。続いて、23年度  
事業計画案、同予算案と千法会  
創立80周年記念事業について提  
案があり、いずれも原案通り承  
認された。

議事終了後、赤松会長から千  
法会の逢澤幹事長に今年度の活  
動支援金を贈呈した。

第2部の講演は、前大阪高等  
検察庁検事長（現弁護士）の中  
尾巧氏（昭45）から「法務・検  
察あれこれ」をテーマに講演い



ただいた。

千法会OBで、検事としての  
仕事以外に入国管理局長の経験  
者は初めてで、当時の苦労話や  
入管行政の空港・外国人定住問  
題、阪神淡路大震災時の検察の  
対応での苦労話など貴重な経験  
談を講演していただいた。

記念写真を撮り、第3部懇親  
会は宮本卓郎先輩（昭34）の乾  
杯の発声で開宴。国家公安委員  
長としての公務多忙の中を駆けつ  
けていただいた中野寛成氏（昭  
38）からもご挨拶をいただき、  
また飛び入りの余興として柿田  
昭則氏（昭40）の石見神楽の舞  
のあと、恒例となったビンゴも  
楽しみ、世代を超えて親睦を深  
めた。

来年度は6月2日（土）に開  
催を予定している。（主原信宏）

## 現役の最優秀賞受賞祝う 能楽部の発展を熱く論議

瓢箪会（梶井俊司会長）は、  
創部88年を迎えた文化会能楽部  
のOB・OGが所属している。  
その23年度総会が8月7日に豊  
中不動尊で開催された。参加者  
は梶井会長をはじめOB・OG  
が15人。また、顧問の政策創造  
学部・深井麗雄教授も駆け付け  
て下さり、現役生14人を含めて  
総勢30人であった。

役員選出や部への援助金、第  
43回関大能（12月11日開催予  
定）のOB・OG賛助出演など  
が議題にのぼった。最後に、現  
役生が7月31日に開催された第  
3回能楽コンクールで最優秀賞  
を受賞したことが報告され、お  
祝いの品が綱川力幹事より西口  
唯主将に手渡されると会場は大  
きな拍手に包まれた。







その後、現役生による仕舞・素謡の会が行われ、仕舞2番、素謡2番、先述の最優秀賞を受賞した仕舞「天鼓」が披露された。現役生はOB・OGの厳しくも温かい目で見守られるなか、関大能への決意を新たにする良



## 上海関大ゴルフ部が初の準優勝 第12回大学対抗ゴルフコンペで

その後、現役生による仕舞・素謡の会が行われ、仕舞2番、素謡2番、先述の最優秀賞を受賞した仕舞「天鼓」が披露された。現役生はOB・OGの厳しくも温かい目で見守られるなか、関大能への決意を新たにする良

い契機になったと思う。  
様々な課題を抱えるなかで、能楽部の発展のために何をすべきかが熱く議論された有意義な総会となり、関大能での再会を約し解散となった。  
(高等部・宮崎亮太)

毎年5月に日本全国出身大  
学OBでチームを作り、親睦を  
目的としたゴルフコンペが開催  
され今年で12回目となる。年々  
参加校も増え、2日間にわたり  
熱い戦いが繰り広げられる。上  
海関大会(横田和彦会長)は第  
2回目より出場しているが、な  
んと今回は準優勝!という成績  
であった。  
今年は、東日本大震災の影響  
もあり順延し、8月6・7日の  
2日間、東大・京大・早稲  
田・慶応・立命・関学など29校  
のチームから約3000人が参加  
して、上海国際カントリークラ  
ブで行われた。  
上海関大ゴルフ部は、去年の  
24位から大躍進。チームは、谷  
誠先輩、平井利武先輩(体育会  
ゴルフ部キャプテン)を中心に  
まとまり、毎年関東圏の大学優  
勢の中で、優勝の早稲田大学に  
は一步及ばなかったが、何とか  
関西の意地を見せることができ  
た大会となった。  
特に表彰式では、なかなか名  
前が発表されず、3位の京都産  
業大学が発表された後は、残る  
は優勝が準優勝かという場面で  
は、大いに盛り上がった。  
上海では、毎年各大学のOB

チーム対抗戦が盛んに行われて  
おり、秋には関西圏の大学対抗  
戦も行われる。関大チームは前  
回3位、今回は優勝目指すぞ  
〜!  
今後の主な大会としては、第  
11回関西圏大学対抗コンペが10  
月16日(日)シルポートにて、  
関大戦が10月22日(土)シルポ  
ートにて、第1回六関対抗戦が  
11月6日(日)(場所未定)、ま  
た第2回関関同立対抗コンペが  
11月20日(日)シルポートにて  
関大が幹事校となって開催され  
る。  
(幹事 山本震一)  
(山本震一 = 86-1370-178-2878)  
E-mail: yamamotos@shystrad-  
ing.com  
北海道の対校戦で5位  
初のホールインワンも  
第12回関西西六大学OBゴルフ  
対抗戦(はちあち会)が8月8  
日、札幌芙蓉CCで122人が  
参加し盛大に開催され、北海道  
支部(木村勇市支部長)では15  
人体制で参加した。  
今回の幹事校神戸大学の発案  
により、スタート前に全員で先  
日の東日本大震災で亡くなられ  
た方々に黙祷を捧げ、ご冥福を  
祈った。  
晴天のもと、関西弁が随所に  
飛び交い、対抗戦とはいえ、極  
めて和やかな雰囲気の中に競  
技は終了。各校のダブルベリア



ハンデいのネットベスト4の集  
計結果が、懇親会会場の札幌ラ  
イフオートホテルで発表され、  
わが校は297・2ポイントで  
第5位となった。  
因みに、優勝は立命館大で、  
わが校は今回も有力なポイント  
ゲッター2人が参加出来ず苦戦  
を強いられたが、初参加の相原  
氏、毎回着実に貢献される林  
氏、北村氏、中村氏が大奮闘!  
各校入り交じっての懇親会の席  
上、わが校の石田一幸氏が大会  
史上初のホールインワン達成の  
快挙が発表され、全員から祝福  
を受け一段と盛り上がった。支  
部の案で祝賀会を改めて9月に  
やるべしというおまけまでつい  
て第5位の無念さも何処へや  
ら、発展的な結末でお開きとな  
った。  
(松本陽一)  
(キムラ・木村勇市 = 011  
721 4311)

制御盤配電盤製作・計装、電気工事



共栄電器工業株式会社

代表取締役 柳 楽 信義

本社 〒660-0815  
尼崎市杭瀬北新町1丁目16番1号  
電話 大阪(6481)8807番(代) FAX(6482)7172  
〒177-0033  
東京営業所 東京都練馬区高野台2丁目6番16号  
電話 東京(3904)1521番 FAX(3904)3430  
ホームページ <http://www.kyouei-d.co.jp>

良縁お世話致します

婚活(結婚活動)は、早ければ早いほど有利です!  
関大生割引あり 一度お電話ください。

ブライダル ナカノ TEL 06-6702-8624  
ホームページ  
<http://www.bridal-nakano.com/index.htm>

●関西大学卒業生(商87) 中野友美子



経済産業大臣認定個人情報保護団体  
結婚相談業サポート協会会員





新刊



紹介

大倉雄次郎（名誉教授）著  
『「企業の本音」がよくわかる！  
大倉式 就活ナビ』

新星出版社刊  
定価1200円＋税



就職氷河期といわれ続けて  
久しい折、震災の影響も加わ  
り、学生達の就職活動は更に  
厳しい状況が続いている。従  
前のマニュアルに従った型ど  
おりの対応では結果を出すこ  
とは困難で、指導側にも採用  
側の確かなニーズを踏まえた  
アドバイスが求められている。  
こうした中で、関西大学名誉  
教授の大倉雄次郎氏が16年間  
の教鞭で培った指導経験を踏  
まえた画期的な指導書を上梓  
された。同書では、業界人

との深い親交に基づくインタ  
ビュー内容などを踏まえた採  
用側の本音を伝え、志望し  
た成果を勝ち得た学生達への  
就職指導の経験を開陳するこ  
と、の二点を特に意識されて  
いる。前者の観点から、巻頭  
およびスペシャル・トピックス  
として、採用担当者へのイン  
タビューから得た「企業の本  
音」を紹介し、更には、パナ  
ソニックの大坪文雄社長のコ  
メントおよび大塚ホールディ  
ングスの大武健一郎副会長の  
インタビューを通して、採用  
側トップが求める人材像や学  
生への要望事項を披瀝されて  
いる。そのうえで、後者の観  
点からは、自己分析やエント  
リースートの記入法、面接の  
対応法などの具体的で有益な  
アドバイスが200余ページ  
にわたって紹介されている。

また、巻末では就職活動に関  
する質問事項にQ&A形式で  
明快に対応し、活動の基本マ  
ナーとしての手紙の書き方な  
どや敬語表現に関する指導も  
盛り込まれ、周到な「就活ナ  
ビゲーター」となっている。関  
係各位には、是非一読をお  
薦めしたい一冊である。

（京都学園大学 経営学部教授  
竿田嗣夫）

松本 順司（昭45学経）著  
『軍靴とタカラヅカ』  
鳴り続けたアメリカ生まれの  
ピアノ』

新風書房刊  
定価1500円＋税



昭和20年（1945）、軍歌  
以外の音楽は、ほとんど封印  
され、クラシックを聴くこと  
も、ましてピアノを弾くなど  
“非国民”と、のしられ、強  
制連行されても文句が言えな  
い時代だった。ところが宝塚  
の住宅街の一角で、定期的に  
グラランドピアノによるサロ  
ンコンサートが開かれていた。

音楽を目指す人だけでなく  
演奏会は夢の夢だった。いく  
ら音をセーブしても、久しぶ  
りに弾くピアノに、ついタッチ  
も強くなる。家の外にまで音  
は漏れる。

ある日、憲兵が踏み込んで  
きた。

「このご時世、何を演奏し  
ている」

一人の憲兵が訪問、おろお  
ろする参加者を憲兵中尉が救

## ラボ子ども英語 指導者募集中

（45才位までの女性）

子育てしながらもう一度、  
自分を輝かせる仕事があります。

「ラボ・チューター」に  
なりませんか？

子どもと絵本が大好きな方にぴったりの  
英語を生かしたライフワークです。



### 同窓生特別 キャンペーン

資料で請求の方全員に  
『ラボ・パーティ紹介CD』を  
プレゼントします。

【英語の歌14曲、  
物語朗読2編他計40分収録】

全国各地で説明会開催中！  
ぜひお問い合わせ下さい。

ラボ子ども英語指導者（チューター）は、絵本・物語を英語と日本語で楽しみながら、子どもの言語力・社会力・国際コミュニケーション力を育む教育活動『Labo Party』の指導者です。自宅できが子と楽しみながら、絵本で子育てができ、英語のスキルアップが図れます。

通常授業以外にも、野外キャンプや海外ホームステイの引率など、単なる英語教室の先生とはまったく違う豊かな活動内容は、子どものみならず、あなた自身の可能性もどんどん広がっていきます。

無料の初期研修、教材無償レンタル、開設初年度指導料収入の保証など、スタート時のバックアップ制度も充実しており、安心して始められます。

少しでも興味をお持ちの方は、ぜひ資料をご請求ください。

### 資料のご請求方法

頂いた個人情報は、資料の発送およびラボ・チューターに関する情報提供に利用させていただきます。

http://www.labo-party.jp

（Yahoo, Googleで「ラボ・パーティ」  
と検索ください）

右記のQRコードからアクセス  
「きっかけ」欄に「関西大学」と  
入力ください。



0120-808-743

フリーダイヤルから

こたばがこどもの未来をつくる  
**Labo Party**  
Since 1966

株式会社ラボ教育センター  
〒160-0023  
東京都新宿区西新宿6-24-1 西新宿三井ビル





った。

「そうかベートーベンの曲を日独が勝利した時の為に練習しているのか」

演奏されたのはベートーベンばかりでなかった。ショパンもチャイコフスキーもヘンデルも、あらゆる曲を弾いていた。

こうしてアメリカ生まれのピアノは、戦時下でも鳴り続けた。宝塚には、歌劇によって育まれた音楽と芸術を愛する環境があった。進駐した軍人や地元の警察官の心をも優しくしたに違いない。だれ一人として密告などによる悲劇的な結末を迎えなかった。

この本は、多くの夢と希望と限らない可能性を持ちながら戦争で命を奪われた若き音楽家たちの無念の思い、そして戦争の悲惨さと平和の有り難さを、空襲で亡くなった少年ピアノリストに託している。

また、主人公とも言えるピアノは、平成7年(1995)1月17日、阪神淡路を襲った大震災で修理もできないほどのダメージをつけたが、故郷ニューヨークで修復され、今も神戸の街で素晴らしい音色を響かせている。

著者は、読売新聞を退職後、歴史の影に隠れた人物や話題の発掘と、評価が定まった人物を新たな視点から捉え

る。をメインテーマに執筆活動を続けており、本書は5冊目。(編集子)

上田 明(昭39学商)著

『歌人日誌 その二』

文芸社刊  
定価1000円+税



本書は、昨年刊行された『歌人日誌』に続く、2010年度版新刊である。

「悪人の自覚をすれば救われる善人ぶるは苦の初めなり」

「人見れば泥棒と思え公約は騙しと思えむなかりけり」

「群雀稲穂たらふくたいらげて軒に三段おしゃべり続く」

など、作者ならではの批判精神と諧謔はますます冴えわたるが、特筆すべきは2011年3月11日、「東日本大震災」以降に詠まれた歌の数々である。

「東北を向きて拝まむ我が心悲惨さ歌に留めて伝へむ」

まさに国難と言ふべき「千年の災い」であり、過去に類を見ない大惨事に、

「生きるとはきざむことなり奥深く天ならしむる残虐行為」

「おにぎりを食べさせたいと持ち歩く不明の息子老母は捜して」

「何不服腹一杯食べて温かき床津波地悲惨我眠られず」と、作者は血の涙で天を仰ぐ。

未だ復興の道筋も立たず、原発の被害は各地に波及し、政治は混沌の度合いを深めるばかりの状況に、反骨の歌人はいかに対峙するのか。2011年度版「その三」の上梓が今から待たれる。

(文芸社第一編集部 秦順子)

吉田 直央(平12学社)著

『平成悪魔の辞典』

もしも悪魔が現代用語辞典を編纂したら

文芸社刊  
定価1100円+税



著者は、『単語でマスター！中学英語』の著書もあり、これまでプロの家庭教師として活動してきた。博学である。

その博学を生かし、用語の意味を斜めから説明することで、言葉の現実性を浮かび上げらせようと本辞典を編集したとのこと。

「ジャンルごとに覚えたい現代用語」から「可哀想な現代用語」まで7章からなる。何語が抜粋してみよう。

【国民】国籍を有する人々のうちの「国会議員」以外の総ての人々。「人間の皆様！」と呼びかける者が人間ではない(異星人である)ように、「国民の皆様！」と呼びかける者は国民ではない。

【ブログ】私生活垂れ流し。【正論】時と場合によって

は、「暴論」の百倍も腹が立つ、真つ当な理論。

【お節介】マザー・テレサによれば、「愛」の反対は「無関心」である。無関心でいられないときに人はお節介を焼く。つまりお節介とは、「愛への入り口」である。

他にも、韓国実効支配をやんわり非難する【竹島】、皮肉たっぷりの【裁判員制度】や【オタク】【バブル経済】【孤独死】等々。

【悪魔】の用語解説はなかったが、「なるほど」「なるほど」と頁を捲るあなたも相当に悪魔的。(N)

## 校友短信



最高検察庁  
総務部長に大  
仲土和氏が就  
任 8月11日  
付。大仲土和氏(おおなか・つちかず)昭48学法)

は、昭和57年4月任検事・大阪地検。その後、各地の地検検事、司法研修所教官等を経て、平成12年4月松山地検次席検事、14年4月大阪地検特捜部副部長、16年4月神戸地検刑事部部長、17年4月大阪地検総務部長、12月特捜部長、19年7



月京都地検次席検事、21年1月大分地検検事正、22年4月岡山地検検事正。23年8月1日付で最高検検事に転任していた。61歳。

愛知県・刈谷市長に竹中良則氏が再選 7月3日投開票。竹中良則氏(たけなか・よしのり)昭42学商)は、昭和42年刈谷市役所に入り、生涯学習部長、企画部長、参事などを歴任。同市収入役を務め、平成19年の前回市長選に無所属新人で立候補、初当選を果たしていた。67歳。

## 【本部関係】

平成23年度校友総会 10月16日(日)午後1時 千里山キャンパス第2学舎4号館「BIGホール100」  
若手校友落語家応援「関大寄席」 11月23日(祝)午前10時 天満天神繁盛亭  
平成24年校友会新年互礼会 平成24年1月14日(土)午後6時 大阪新阪急ホテル  
第98回定時代議員会 3月24日(土)午後1時 千里山キャンパス・100周年記念会館

## 【地域支部】

西宮支部総会 10月1日(土)午後6時 ノボテル甲子園(10,000円。栄興電機工業・小坂圭一=06 6491 5301)  
大阪中央支部総会 10月1日(土)午後6時 シティプラザ大阪(伊藤見充=0743 71 2285)  
交野支部総会 10月2日(日)午後6時 交野市立保健福祉総合センター(安原敏夫=072 892 6714)  
東成支部総会 10月4日(火)午後6時 ホテルアウィーナ大阪(米谷晴生=06 6981 3858)  
川西支部総会 10月8日(土)午後6時 アステ川西6階大ホール(=06 6491 5301)  
宝塚支部総会 10月8日(土)午後6時半 宝塚ホテル(塚本寿一=0797 85 1491)  
香川支部総会 10月15日(土)午後5時 全日空ホテルクレメント高松(星タケシ・川崎有二=087 821 7070)  
愛知東支部総会 10月16日(日)午前11時 ホテルアソシア豊橋(中村一雄=0532 62 8938)  
愛知支部第99回総会 10月22日(土)午前11時半 名古屋観光ホテル(知多工業・森田敏二=0562 33 5822)  
高知支部総会 10月22日(土)午後6時 高知会館(岡内紀雄=088 873 3270)  
大分千里会総会 10月22日(土)午後6時半 大分全日空ホテルオアシスタワー(徳重忠男=0977 27 8700)  
大東支部復活総会 10月22日(土)午後6時 大東市民会館(清水正義=072 871 3300)  
西淀川支部総会 10月22日(土)午後5時 ホテルグランヴィア大阪・レストランアップ(西山正明=06 6474 8587)  
枚方支部総会 10月23日(日)午後5時 ひらかた仙亭(阿部進=072 805 0005)  
三重中勢支部総会 10月29日(土)午前10時半 プラザ洞津(森貞弘=059 231 0295)  
首都圏支部連合会総会 10月29日(土)午後1時 関西大学東京センター(関西大学東京センター=03 3211 1670)  
箕面支部総会 10月29日(土)午後5時 箕面観光ホテル(日産チェリー箕面販売・藤元尚宏=072 722 5581)  
神崎支部総会 10月30日(日)午前10時 香寺荘(坂本喜則=079 227 3510)  
愛知支部母校見学会 11月3日(祝)午前10時 千里山キャンパス(知多工業・森田敏二=0562 33 5822)  
神戸支部ゴルフ親睦会 11月3日(祝) 三木セブンハンドレッド倶楽部(プレー費1万3千円+参加費4千円。東光商会FAX=078 453 2171、ku1886@nifty.com)  
高石支部創立50周年記念総会 11月5日(土)午後6時半 ホテル・レイクアルスター アルザ泉大津(尾崎義之=072 262 5378)  
山口千里会総会 11月5日(土)午後7時 新幹線新山口駅南・山口グランドホテル(男性8千円、女性5千円。北乗吉道=0839 86 2626)

吹田支部第40回記念親睦ゴルフ大会 11月6日(日)午前8時15分集合 アートレイクゴルフ倶楽部(プレー費(昼食・会食込)2万1,590円+参加費3千円。大倉幾三郎=電・FAX06 6388 2294)  
沖縄支部総会 11月11日(金)午後6時45分 沖縄ホテル(南西環境研究所・田中順一=098 835 8411)  
京阪沿線近隣支部親善ゴルフ大会 11月11日(金)午前8時集合 交野カントリークラブ(参加費5千円。ゴルフ場支払い各自。寝屋川支部・今井邦昭メール=kuniimail09@gmail.com)  
岐阜千里会総会 11月13日(日)午後4時 岐阜グランドホテル(ハビックス・宮地博=058 296 3911)  
生駒支部総会 11月13日(日)午後5時 近鉄生駒駅・メルヘン(藤後弘=0743 79 5157)  
備後支部総会 11月19日(土)午後5時半 福山ニューキャッスルホテル(8千円、女性3千円、平成10年度以降卒5千円。福山包装・畦崎雅則=0849 43 1741)  
平野支部総会 11月19日(土)午後6時 パル法円坂(田中義信法律事務所・田中義信=06 6316 0348)  
泉南支部総会 11月20日(日)午前11時 場所未定(築野由照=072 476 1782)  
神戸平成倶楽部冬の懇親会 12月3日(土)午後4時 神戸東急イン(3千500円。東光商会FAX=078 453 2171、ku1886@nifty.com)

## 【職域会ほか団体】

関大法曹会創設50周年記念ゴルフ大会 10月1日(土)午前9時 鳴尾ゴルフ倶楽部(担当副幹事長・小寺陽平FAX=06 6365 1768)  
関大法曹会創設50周年記念総会 10月14日(金)午後6時 大阪新阪急ホテル(尾島法律事務所=06 6363 2870)  
応援団OB長柄会総会 10月15日(土)午後6時 大阪新阪急ホテル・花の間(中村司法書士事務所・中村博=06 6705 5678)  
学部27年会総会 10月18日(火)午前10時半 肥後橋・徐園(8千円。畑下公認会計士事務所=06 6773 3871)  
大阪家事調停協会関大会総会 10月21日(金)午後6時 プリムローズ大阪(鍋島均=072 221 5269)  
38年卒体育会・応援団同期会 10月22日(土)午後6時 がんこ阪急東通り店(6千円。硬式野球部・草川雄二=090 9217 5745、アイススケート部・岡橋庄二郎=090 1675 8675、空手道部=山元吉明=090 1247 5950、射撃部・久川隆=090 3274 4038))  
二九千里会総会 10月29日(土)午後5時 ホテルプラザオーサカ(水野富蔵=072 922 0864)  
体育会自転車部OB総会 10月下旬の土曜日 関西大学内で開催(詳細未定)(山本修平税理士事務所・山本修平=06 6362 0186)  
三二会総会 11月5日(土)午後3時 校友・父母会館会議室(宇野稔=06 6356 0109)  
学部二六年会卒業60周年記念総会 11月14日(月)午前11時 肥後橋・徐園(1万円。東浦栄一=06 6921 0874)  
司法書士関大会総会 11月18日(金)午後6時 大阪キャッスルホテル(中村司法書士事務所・中村博=06 6705 5678)  
関大不動産鑑定士クラブ総会 11月19日(土)午後4時 100周年記念会館・レストラン紫紺(笠井不動産鑑定=06 6311 1205)  
経済人クラブ第193回例会 11月21日(月)午後6時 大阪新阪急ホテル(校友会事務局=06 6368 0041)  
東京経済人倶楽部総会 11月28日(月)午後6時半 場所未定(関西大学東京センター=03 3211 1670)  
中国文学科創設60周年記念の集い 12月23日(金)午後2時 千里山キャンパス・第1学舎

## お悔み申し上げます

(敬称略)

小島光裕(こしま・みつひろ) 昭40学文新・44学文史、元産経新聞社大阪編集局) 平成22年11月19日死去。68歳。奈良県北葛城郡。

飯田悦生(いいた・えつお) 昭39学経、コピーライター・随筆家) 平成23年1月1日死去。69歳。稲沢市。

渡辺義武(わたなべ・よしただけ) 昭17専2商) 1月14日死去。90歳。今治市。

山際隆一(やまぎわ・りゅういち) 昭26学経、元今川証券常務取締役) 5月20日死去。85歳。富田林市。

滝住光二(たきすみ・こうじ) 昭25専2法・27学法、元東大阪市議会議員、社会保険労務士) 7月3日死去。85歳。東大阪市。

山口富男(やまぐち・とみお) 昭44学工金、サイシン工業取締役工場長) 7月5日死去。65歳。戸田市。

濱名 巖(はまな・いわお) 昭20関甲) 7月14日死去。84歳。西宮市。

石丸光一(いしまる・こういち) 昭56一高・62学文中、大一化工工業所代表取締役社長、此花支部幹事) 7月14日死去。48歳。大阪市。

石田光男(いしだ・みつお) 昭27学経、勝光社顧問・元社長、五七会副会長、元校友会代議員) 7月25日死去。86歳。宝塚市。

町田 章(まちだ・あきら) 昭37学文史、前奈良文化財研究所長) 7月31日死去。72歳。奈良市。

前身の奈良国立文化財研究所時代の1999年から6年間所長を務めた。専門は中国考古学。

石川昌司(いしかわ・しょうじ) 昭37学商・39M



商・公認会計士・税理士「税理士法人S.T.M

総研、校友会参与、法人理事・評議員) 8月14日死去。73歳。芦屋市。

校友会では平成3年から常務員を務め、財務副部長を2期、財務部長を3期。18年から副会長を1期務め、21年から参与。大学関係では平成8年から法人評議員になり、12年から監事を1期、16年理事に就任し2期目。太陽ASG有限責任監査法人の前代表社員で、会計士関係では日本公認会計士協合理事、同近畿会副会長2期などを歴任。また、公認会計士関大会会長、会計人会副会長などを務め、芦屋支部会計監査を現任。他に学校法人履正社、鴻池奨学財団・小野奨学財団の監事も務めていた。



株式会社 **Em Road** <sup>Marriage Road</sup>

私どもに届いたお手紙です。

エムロードの皆様、本当にお世話になりました。  
お見合いをしている間は期待や不安が入り混じった気持ちで、常にハラハラ・ドキドキしているような感じてましたが、とても楽しく過ごさせていただきました。結婚についてだけでなく、いろんなことを真剣に考え、人間的にも成長できたんじゃないかなと思います。本当にありがとうございました。(女性記)

京都大学大学院工学研究科卒 31歳 男性  
大阪大学法学部卒 法人職員 26歳 女性

創業21年、5,500組を超える成婚実績、  
コンピューターを一切使わず、すべててづくり  
100%の誠実なマンツーマンシステムです。  
また、ご家庭環境、お人柄等バランスのとれたご紹介  
を重視し、無駄のないお出会いを実施しています。  
その為、他社との連携は一切いたしておりません。

コンピューターを一切使わず、  
お一人お一人丁寧にお世話させて  
いただいております。

※エムロードはここが違う!!

- 1 成婚率の高さ  
(無駄なお見合いを省いた成婚重視の手づくり  
100%の行き届いたシステム)
- 2 質の高い会員層  
(国公立・有名私立大卒が中心)
- 3 同一アドバイザーによる一貫したお世話  
(ご入会からご成婚まで、行き違いのないように  
同一のアドバイザーが担当)
- 4 自社会員のみの構成  
(成婚率の高さの維持とプライバシーの保護  
の為に他社との提携は一切なし)
- 5 ご両親説明会開催  
(月一回ご両親への説明会開催)
- 6 格式あるお見合いパーティー  
(帝国ホテル・リッツカールトン等一流ホテルでの  
会員様だけの集い)
- 7 安心の均一料金システム  
(どの大学ご出身者も、すべて平等。成婚重視  
の安心料金システム)



私たちがお世話します。



新聞・テレビで

“成婚率の高い結婚相談所”と紹介されました。

- ドクターズコース、一般コース、中高年各コース 有
- 資料請求無料

お問い合わせセンター 大阪・神戸・京都  
よいふうふ よろしく  
**0120-4122-46**



大阪

ジオグランデ梅田 最上階



神戸

神戸国際会館 19F



京都

オフィスワン四条烏丸6F

直営店  
大阪 大阪市北区茶屋町8番21号 ジオグランデ梅田 3101  
神戸 神戸市中央区御幸通り8-1-6 神戸国際会館19F  
京都 京都市下京区室町通綾小路上の鶏鉾町480番地  
オフィス・ワン四条烏丸6F

携帯サイト **m-road.info** エムロード 結婚 検索

●営業時間/10:00~18:30 ●定休日/水曜日



# 未来への先駆を担う 「総合開発事業」の リーディングカンパニー

日本エスリードは1992年の設立以来、「住む人の立場に立った住まいづくり」という一貫した理念により、マンション業界のリーディングカンパニーへと急成長いたしました。この長引く不況下でも、弊社では短期的な売り上げの確保より、あえて長期的な安定成長を念頭に置いた経営基盤の確保を優先してまいりました。  
現状によらない新しい発想で、着実な成長に務めること。優れた商品企画力と強い営業力を土台に、市場のニーズを捉えたアクションを着実に実行すること。社員一同の高い意欲と専門知識を財産として、より強い歩みで未来へ前進してまいります。



## 洗練と上質、優美なる邸。

※掲載の写真は、エスリード松原松ヶ丘第2の4〜6号棟のモデルルームです。実際の商品と異なる場合があります。また、掲載のモデルルームは、一部の間取り・仕様・色合いが異なる場合があります。詳細は、各モデルルームのパンフレットをご覧ください。

近鉄南大阪線 準急停車駅  
「河内松原」駅  
徒歩7分

大きく変貌する天王寺エリアへ準急1駅  
「大阪阿部野橋」駅へ  
1駅9分



【カーナビ利用の際は「松原市松ヶ丘1-10」とご入力ください】

ESLEAD  
MATSUBARA  
MATSUGAKA II  
エスリード松原松ヶ丘第2

### エスリード松原松ヶ丘第2 第3期分譲開始!

販売価格(税込)  
2LDK 1,800万円台  
住居 55.81㎡  
専有面積

販売価格(税込)  
3LDK 2,000万円台  
住居 55.79㎡  
専有面積

■物件概要●名称/エスリード松原松ヶ丘第2●所在地/大阪府松原市松ヶ丘1丁目358-45他(地番)●交通/近鉄南大阪線河内松原駅徒歩7分●地域・地区/第2種中高層住居専用地域、法第22条指定区域、第2種高度地区●地目/宅地●建ぺい率/60%●容積率/200%●敷地面積/3,710.48㎡●建築面積/1,605.04㎡(建築確認表示面積)●建築延床面積/7,985.39㎡(建築確認表示面積)●構造・規模/鉄筋コンクリート造、地上10階建●総戸数/114戸●販売戸数/36戸●販売価格(税込)/1,860万円~3,410万円●最多販売価格帯(税込)/2,000万円台(6戸)●住居専有面積/45.21㎡~82.13㎡●間取り/2LDK~3LDK●専用バルコニー面積/7.56㎡~11.90㎡●バルコニー面積/10.26㎡~23.19㎡●ルーフバルコニー面積/11.66㎡~52.71㎡●専用庭面積/10.01㎡~18.76㎡●管理費(月額)/5,300円~9,700円●修繕積立金(月額)/4,400円~8,000円●修繕積立一時基金(引渡時一括)/264,000円~480,000円●ペット登録料(月額)/100円(1頭まで)●駐車場/107台●駐車場使用料(月額)/4,500円~12,500円●バイク置場/7台●バイク置場使用料(月額)/1,000円●ミニバイク置場/8台●ミニバイク置場使用料(月額)/700円●自転車置場/229台●自転車置場使用料(月額)/200円●ルーフバルコニー使用料(月額)/200円~1,100円●専用庭使用料(月額)/200円~400円●敷地所有者/日本エスリード株式会社●分譲後の権利形態/敷地は専有面積持分比率による共有、建物は区分所有●管理形態/区分所有者全員にて管理組合を結成し、管理会社に委託●管理会社/エスリード管理株式会社(国土交通大臣(2)第061002号)●建築確認番号/第KKK00907756号(平成22年5月21日)●竣工予定/平成24年1月(予定)●入居予定/平成24年2月(予定)●事業主(売主)/日本エスリード株式会社●設計・監理/株式会社都市建築研究所●デザイン監修(外観・エントランス)/株式会社インターデザイン●施工/株式会社浅沼組●広告有効期限/10月30日

国土交通大臣免許(4)第5489号 (社)近畿地区不動産公正取引協議会加盟  
(社)不動産協会会員 東京証券取引所1部上場 大阪証券取引所1部上場  
専主 **日本エスリード株式会社**  
〒553-0003 大阪府福島区福島6-25-19 TEL.06(6345)1880(代) FAX.06(6345)1770

20,000戸を超える\*  
実績を誇る、  
信頼のエスリードライフ。  
※平成23年6月現在

お問い合わせは「エスリード松原松ヶ丘第2」マンションギャラリー  
**0120-114-882**  
インターネットでもエスリードマンションシリーズのマンション発売情報を提供しています。  
<http://www.eslead.co.jp/>